史跡斎宮跡

第188次発掘調査報告

2024年3月

斎宮歴史博物館

例　言

1　本書は、斎宮歴史博物館が平成28年度に内閣府の地方創生加速化交付金を受けて実施した、斎宮を核とした交流促進事業（斎宮跡　第188次調査）の概要をまとめたものである。

2　遺構の実測にあたっては、日本測地系による国土調査法（旧国土座標）の第Ⅵ座標系を基準とし、方位は旧国土座標による座標北で示している。また、建物の軸方位については、全て北を規準として表記している。

3　斎宮跡の遺構・遺物の時期区分については、斎宮歴史博物館2019『斎宮跡発掘調査報告Ⅱ　柳原区画の調査　出土遺物編』に拠る。

4　斎宮跡の時期区分については、土器編年に基づき、期と段階を用いて「斎宮跡Ⅰ期第１段階」等と表記するが、本文中ではこれを簡略的に「斎宮Ⅰ－１期」と表現している。また、時代の表記は「前期・中期・後期・末期」とした。なお、斎宮の時期区分と実年代の対応関係は次のとおりである。

斎宮Ⅱ－１期：780年～810年頃、斎宮Ⅱ－２期：810年～840年頃、斎宮Ⅱ－３期：840年～900年頃、斎宮Ⅱ－４期：900年～950年頃

斎宮Ⅲ－１期：950年～1020年頃、斎宮Ⅲ－２期：1020年～1080年頃、斎宮Ⅲ－３期：1080年～1140年頃、斎宮Ⅲ－４期：1140年～1170年頃

斎宮Ⅳ期：1170年～1300年頃

5　遺構表示記号は次のとおりである。

ＳＡ：柱列　ＳＢ：掘立柱建物　ＳＤ：溝　ＳＦ：道路　ＳＩ：竪穴建物　ＳＫ：土坑　ＳＺ：落ち込み・その他

Pit ： 柱穴、ピット

6　遺物実測図は基本的に実物の４分の１で掲載している。

7　土層および出土遺物の色調は、日本色研事業株式会社発行『新版標準土色帖』（2004年度版）に拠る。施釉陶器の色調については一部、大日本インキ化学工業株式会社発行『日本の伝統色』第５版（1989年）を用いて補っている。

8　遺物の漢字表現は、材質の差による漢字の偏に必ずしも従うことなく、「わん」は「椀」、「つき」は「杯」を用いる。ただし、参考文献からの引用の場合にはこの限りではない。

9　図面・写真等の調査資料及び出土遺物は、斎宮歴史博物館で保管している。

10　発掘調査は徳積裕昌、執筆・編集は宮原佑治（Ⅱ章）・小原雄也（Ⅰ章）が担当した。また発掘調査および資料整理は、大川勝宏・山中由紀子・川部浩司・伊藤文彦・杉原泰子・八木光代・西川千晶・大和谷周子・中西宏美が補佐した。

目　次

Ⅰ　前言 …… 1
Ⅱ　第188次調査 …… 7

挿図目次

第Ⅰ－1図　史跡斎宮跡位置図 …… 3
第Ⅰ－2図　第188次発掘調査位置図 …… 4
第Ⅰ－3図　斎宮跡方格街区区画名称図 …… 5
第Ⅰ－4図　史跡斎宮跡における大地区表示図 …… 6
第Ⅱ－1図　第188次調査　グリッド図 …… 7
第Ⅱ－2図　第188次調査　調査区位置図 …… 8
第Ⅱ－3図　第188次調査　遺構平面図 …… 9
第Ⅱ－4図　第188次調査　土層断面図 …… 10
第Ⅱ－5図　第188次調査　出土遺物実測図1 …… 19
第Ⅱ－6図　第188次調査　出土遺物実測図2 …… 20
第Ⅱ－7図　第188次調査　出土遺物実測図3 …… 21
第Ⅱ－8図　第188次調査　出土遺物実測図4 …… 22
第Ⅱ－9図　第188次調査　出土遺物実測図5 …… 23
第Ⅱ－10図　第188次調査　出土遺物実測図6 …… 24
第Ⅱ－11図　第188次調査　出土遺物実測図7 …… 25

表目次

第Ⅱ－1表　第188次調査　掘立柱建物一覧表 …… 15
第Ⅱ－2表　第188次調査　遺構一覧表 …… 16
第Ⅱ－3表　第188次調査　遺物観察表1 …… 26
第Ⅱ－4表　第188次調査　遺物観察表2 …… 27
第Ⅱ－5表　第188次調査　遺物観察表3 …… 28
第Ⅱ－6表　第188次調査　遺物観察表4 …… 29
第Ⅱ－7表　第188次調査　遺物観察表5 …… 30
第Ⅱ－8表　第188次調査　遺物観察表6 …… 31
第Ⅱ－9表　第188次調査　遺物観察表7 …… 32
第Ⅱ－10表　第188次調査　遺物観察表8 …… 33
第Ⅱ－11表　第188次調査　遺物観察表9 …… 34

写真図版目次

表紙写真　第188次調査区と復元された古代伊勢道（西から）
写真図版1　第188次調査区全景／調査区中央部全景 …… 35
写真図版2　SF10999／SF11000・11001 …… 36
写真図版3　SI10990／SA10946・SB10950 …… 37
写真図版4　第188次調査現場と案内看板設置／案内テント／発掘現場の見学風景／発掘体験／休日公開／墨書土器体験／大学生による斎宮跡調査アシスタント／三大都市圏講演会 …… 38
裏表紙写真　SI10990（北から）

Ⅰ　前　　言

1　事業・調査の経緯と概要

（1）史跡斎宮跡にかかる経緯と経過

斎宮跡の発見の契機は、高度経済成長期に斎宮段丘面の西縁部で大規模な宅地造成計画がなされ、その開発事業に先立って実施された昭和45年の斎宮跡（古里遺跡）の確認調査による。その後の発掘調査では、大型の建物を含む多くの掘立柱建物、井戸、土坑、奈良時代と鎌倉時代の大溝、蹄脚硯や大型赤彩土馬、緑釉陶器等が発見され、斎宮関連の重要遺跡と認識された。昭和48年度から文化庁の補助事業として確認調査を重ね、昭和54年３月27日に国史跡に指定され、東西約２㎞、南北約700ｍに及ぶ137haの史跡範囲が把握されるに至った。管理団体は、明和町である。

三重県は、史跡指定に伴い斎宮跡調査事務所を設置して発掘調査にあたり、平成元年度からは新たに開館した斎宮歴史博物館によって、史跡の実態解明のための計画的な学術調査を継続的に実施している。

斎宮跡の発掘調査では、史跡東部に所在する平安時代の方格街区と斎宮中枢部の解明が進展した。平成27年度には、柳原区画で平安時代前期の斎宮寮庁を対象に、史跡整備の一環として正殿・西脇殿・東脇殿の復元建物を建設し、史跡公園「さいくう平安の杜」が公開活用されている。

明和町は、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき、平成23年度から「明和町歴史的風致維持向上計画」の策定に取組み、平成24年６月６日に国の認定を受けた。同計画に基づき、下園東区画周辺において来訪者の案内・交流を目的とした施設整備を計画し、平成24年度に発掘調査を行い、平成27年度から工事に着手、平成29年３月に「いつきのみや地域交流センター」が竣工した。平成27年４月24日には、「祈る皇女斎王のみやこ　斎宮」が日本遺産に認定された。

（2）史跡斎宮跡の発掘調査の履歴

斎宮跡の発掘調査は、昭和45年の確認調査（第１次）を皮切りに、史跡内容確認の計画的な学術調査、現状変更等に伴う調査が積み重ねられ、令和２年度には50年目の節目を迎えた。これまでは、史跡東部に位置し、平安時代の斎宮の中心地である、方格街区内部の発掘調査に重点を置き、具体的な構造の解明に取り組んできた。

これらの成果は、発掘調査概報として毎年刊行しているが、正式な発掘調査報告書『斎宮跡発掘調査報告』は、斎王の宮殿「内院」（報告Ⅰ）、柳原区画の「斎宮寮庁」（報告Ⅱ）、下園東区画の「寮庫」（報告Ⅲ）、西加座南区画の「神殿」（報告Ⅳの一部）、飛鳥時代の斎宮中枢域の調査（報告Ⅴ）を刊行している。今後は、これまで調査を行ってきた方格街区の他の区画とともに、奈良時代の斎宮中枢域にかかる発掘調査の正式報告書を順次刊行していく方針である。

（3）斎宮を核とした交流促進事業の経緯

斎宮を核とした交流促進事業は、平成28年度に内閣府の地方創生加速化交付金を受けて実施した事業である。斎宮歴史博物館の大きな特色である史跡の実態解明のための発掘調査を、交流人口の拡大や将来的に文化財保護や文化遺産を活かしたまちづくりを担う人材育成の場とするため、発掘現場の公開・活用事業とそのＰＲ事業を行ったものである。

事業の予算額は、計28,000千円で、「斎宮発掘！参加・体験事業」（内、18,000千円）と「スマートフォン等を利用したガイドシステムの整備」（内、10,000千円）がある。

当該事業により第188次発掘調査を実施しており、調査の期間は平成28年５月23日～12月16日、調査面積は700㎡である。その他の平成28年度の斎宮跡発掘調査については、『史跡斎宮跡　平成28年度発掘調査概報』（斎宮歴史博物館 2018年）及び『史跡斎宮跡　平成28年度現状変更緊急発掘調査報告』（明和町　2018年）を参照願いたい。

（4）斎宮を核とした交流促進事業の概要

斎宮発掘！参加体験・事業

①発掘調査現場公開

斎宮跡広頭地区（古代伊勢道沿い）で実施した第188次調査において、調査担当者１名に加えて、調査解説担当の職員を１名常置し、見学者へ発掘の目的・方法、リアルタイムでの成果等を解説した。あわせて発掘現場のテントで、墨書土器体験を実施した。

②発掘現場の休日公開

６～11月に毎月１回、休日に発掘調査を行い、その様子を公開した。あわせて現地説明会や、紙粘土による土馬づくり、

銭の鋳造体験を実施した。

③発掘体験

夏休み子ども向けの１日体験発掘講座（８月２・３日）、大人向けの１日体験発掘講座（９月22日・10月22日・11月３日）、その他、学校や団体の申し込みによる発掘体験を実施した。

④斎宮の発掘を紹介するＤＶＤソフト作製

第188次調査の現場を利用し、斎宮跡の発掘調査の方法等を伝えるための映像ソフト（約10分）を作製した。映像は、日本語版のほか英語・中国語（繁・簡）、韓国語字幕版を作製し、作成した映像は発掘現場で放映した。

⑤斎宮跡調査アシスタント制度

文化財を保存・活用し、地域づくりに資する人材を育成するため、三重大学・皇學館大学と連携協定を結び、考古学・歴史学を学ぶ学生が発掘アシスタントとして調査に参加できる制度を設けた。

スマートフォン等を利用したガイドシステムの整備

斎宮歴史博物館においてスマートフォン等に展示品の解説等が表示され、音声でも聞くことができる多言語ガイドシステムを導入するとともに、Wi－Fiを整備した。

（５）発掘調査現場の公開活用、公開講座の実施

日常の発掘現場の公開のほか、発掘体験や大学生向けの発掘研修、公開講座などを実施した。来場者・参加者の総数は5,306名で、その内訳は下記のとおりである。

一般来場者	計3,068名
休日公開	計1,475名
発掘体験	計275名
大学生による発掘研修	計72名
県外公開講座	計416名
平成28年７月２日	大阪市・近鉄文化サロン
平成28年９月４日	名古屋市・中日文化センター
平成29年２月11日	東京都・國學院大學博物館

2　調査体制

史跡斎宮跡の調査研究・整備活用に関する業務は、斎宮歴史博物館調査研究課が担当した。当該報告に関わる組織は以下の体制である。

平成28年度

大川勝宏

穂積裕昌

伊藤文彦

宮原佑治

令和５年度

山中由紀子

川部浩司

大川勝宏

小原雄也

3　斎宮跡調査研究指導委員会

平成29年３月15日に斎宮跡調査研究指導委員会を開催し、当該事業における斎宮跡の調査成果の報告等を行った。平成28年度における指導委員の方々は、下記のとおりである。

［指導委員］

浅野　聡（三重大学大学院准教授）

稲葉信子（筑波大学大学院教授）

小澤　毅（三重大学文学部教授）

金田章裕（京都大学名誉教授）

黒田龍二（神戸大学大学院教授）

佐々木恵介（聖心女子大学教授）

増渕　徹（京都橘大学教授）

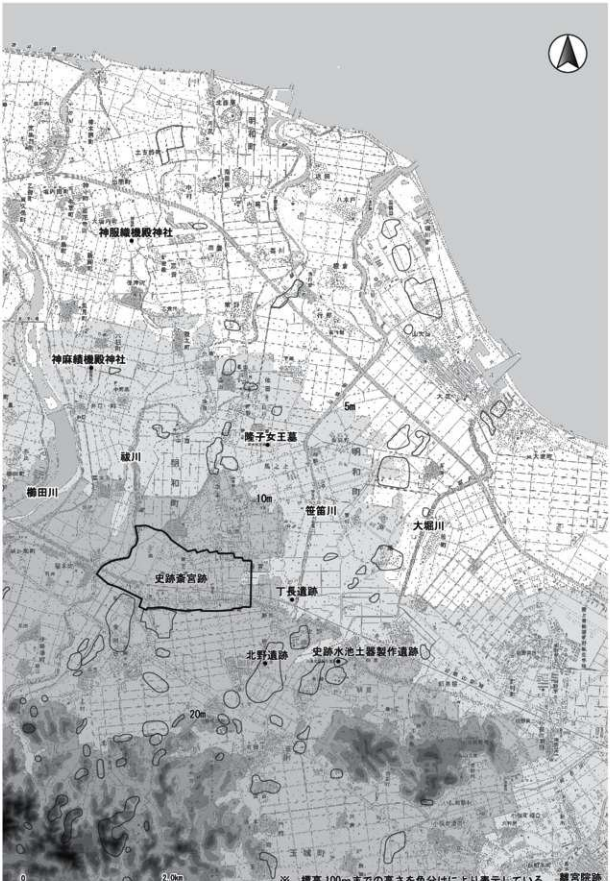
松村恵司（奈良文化財研究所長）

本橋裕美（愛知県立大学准教授）

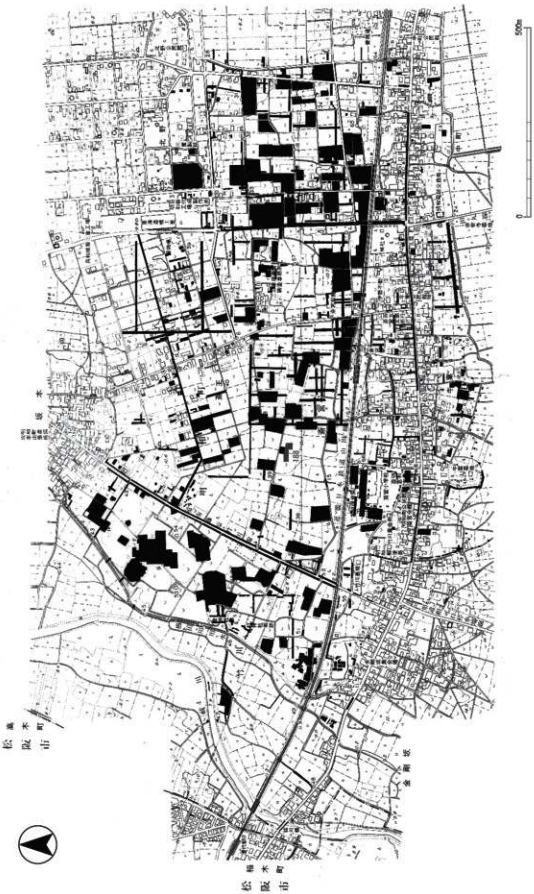
渡辺　寛（皇學館大学名誉教授）

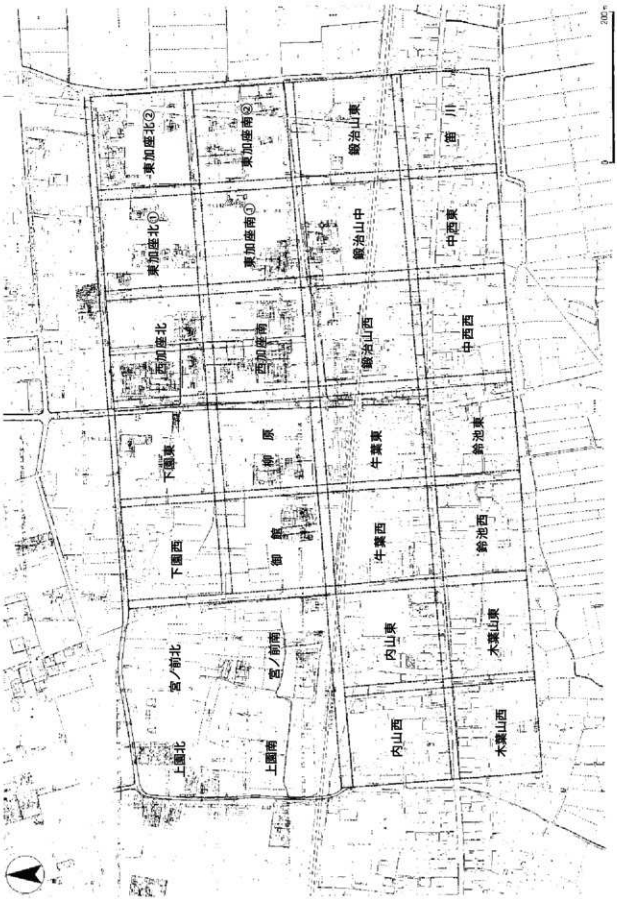
綿貫友子（神戸大学大学院教授）

（五十音順・敬称略・所属は平成28年度時点）

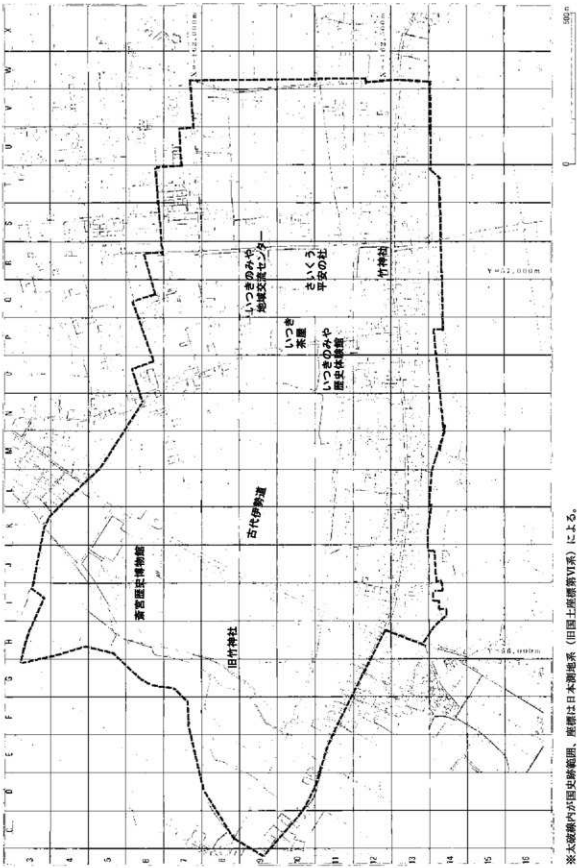


第Ⅰ－１図　史跡斎宮跡位置図（1/500,000・国土地理院 1/25,000「松阪」「明野」を改変）


500m
0
堺市
堺市
堺市



第Ⅰ－３図　斎宮跡方格街区区画名称図 (1/5,000)



※太破線内が国史跡範囲、座標は日本測地系（旧国土座標第VI系）による。

第Ⅰ－４図　史跡斎宮跡における大地区表示図（2002 年策定）

Ⅱ　第188次調査

（6AL9 広頭地区）

1　はじめに

第188次調査は、古代伊勢道の約５ｍ南側、奈良時代末期以降の斎宮・方格街区の約30ｍ西側に位置する（第Ⅱ－１・２図）。付近では、第12-1次、32次、50次、87次、139次、154次調査が行われており、奈良時代の竪穴建物や掘立柱建物の他、平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物が確認されている。なかでも、平安時代中期には、古代伊勢道の北側の塚山地区で四面廂付建物が確認される等、重要遺構の展開が想定できる。

第188次調査は、こうした古代伊勢道の隣接地の実態解明を行うため、第154次調査区の南隣に調査区を設定した。

2　地形環境と地層

調査区は現況耕地の平坦面である。調査区は全体が標高11.4～11.5ｍで推移し、大きく高低の変化はみられない。

基本層序は上から、表土（耕作土）、包含層（黒ボク）、地山（黄褐色シルト）からなり、現況の地表面から地山面までの深さは0.35～0.4ｍである。

3　遺構

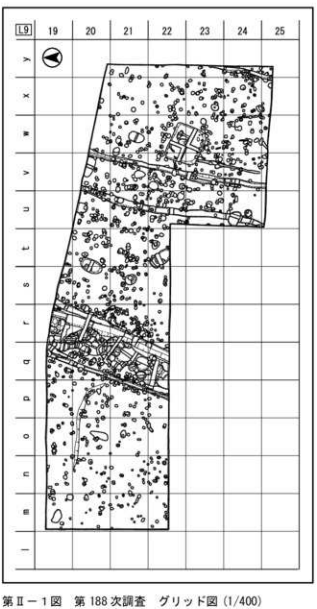
第188次調査では、古代伊勢道と直交し南下する南北方向の溝を複数条確認し、中には２条の溝が並行することから道路側溝と考えられるものもある（第Ⅱ－３図）。溝の周囲からは、掘立柱建物16棟、竪穴建物１棟、土坑17基、溝９条（道路側溝を含む）等を検出した。いずれも古代伊勢道が敷設された当初の奈良時代前後まで遡るものではなく、平安時代後期～鎌倉時代初頭を中心とするものである。

（1）平安時代前期以前の遺構

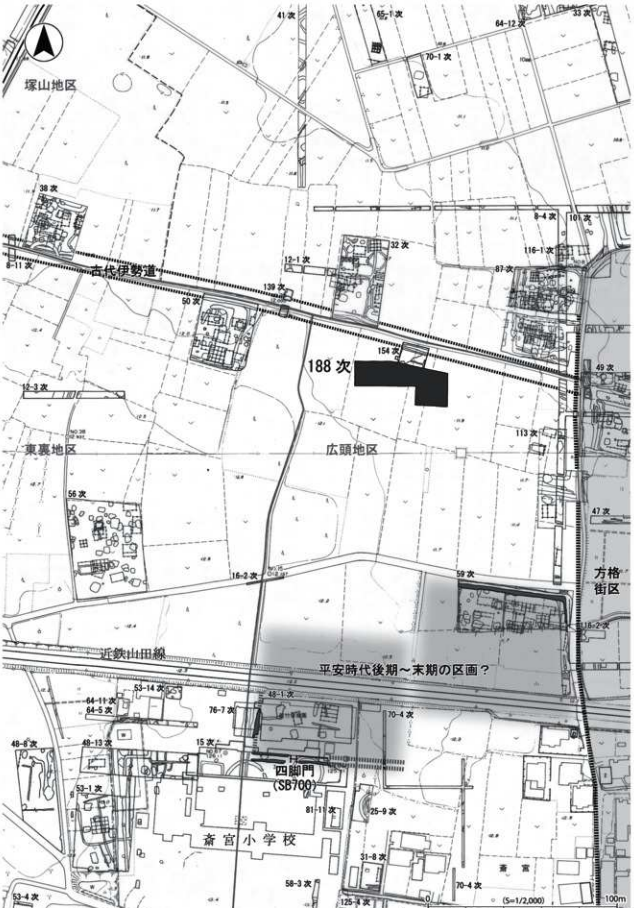
SF10999　調査区の東側で検出したSD9864を西側溝、SD10982を東側溝とする南北道路と考えられる遺構で、道路幅は両側溝の内側で3.2～4.0ｍを測る。道路北端の中心と南端の中心を結んだ直線の方位は、N11°Eとなる。

SD9864は、第154次調査で既に検出されており、東西に７ｍ以上延びて南北溝に接続する南に長いT字形を呈し、東西溝と南北溝は別々ではなく一連の溝であることが報告されている。幅は0.5～0.8ｍ、第154次調査区の北端から24.4ｍ以上で南側は調査区外に続く。深さは0.1～0.25ｍで、断面の形状は浅いU字型である。重複関係からSA9861・SB10974・10975・10983・10984、SK9860・10986より古い。出土遺物には斎宮Ⅱ～Ⅲ期の土器（第Ⅱ－５図１～10）が混在する。

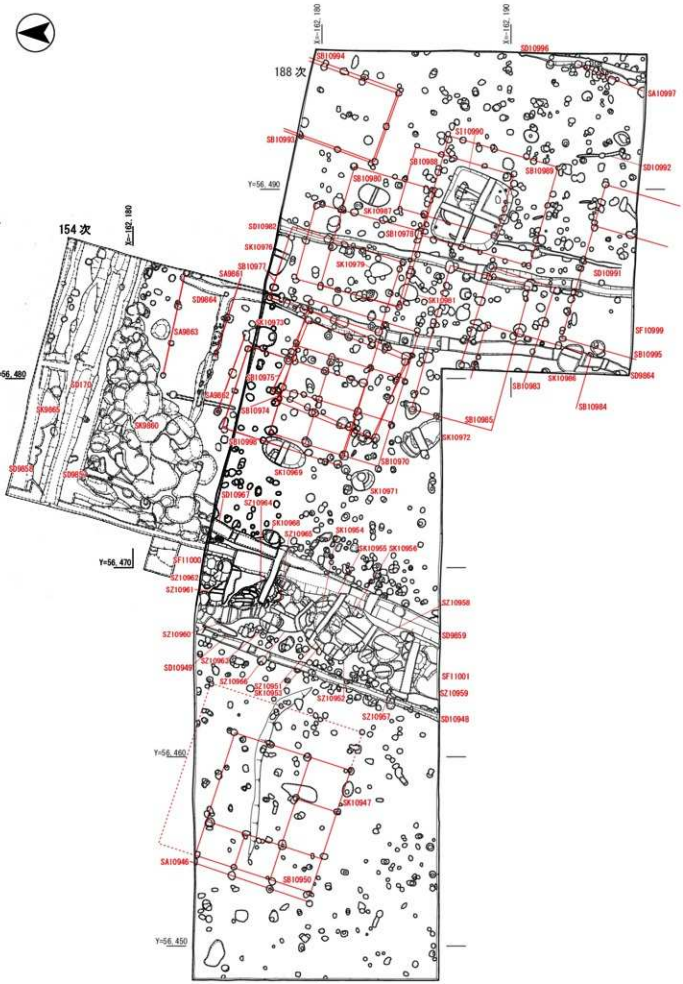
SD10982は、幅が0.6～0.8ｍ、長さは19.0ｍ以上で、南北共に調査区外に続く。深さは0.1～0.2ｍで断面形状は浅いU字型である。重複関係からSB10977・10978・10980・10983・10984・10985より古い。出土遺物には斎宮Ⅱ～Ⅲ期の土器（第Ⅱ－５図11～14）が混在する。

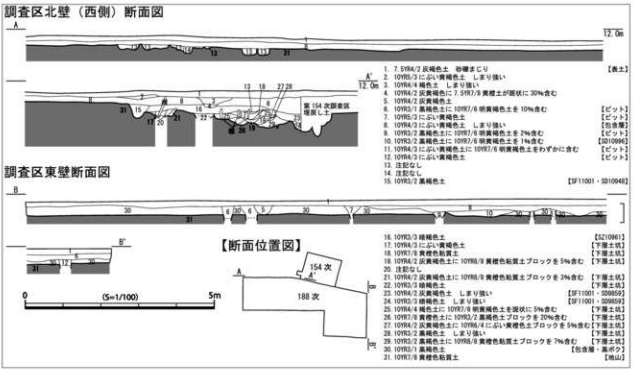


第Ⅱ－１図　第188次調査　グリッド図（1/400）



第Ⅱ－２図　第 188 次調査　調査区位置図 (1/2,000)


188 次
154 次
X=-162,180
X=-162,190
Y=56,490
Y=56,480
Y=56,470
Y=56,460
Y=56,450
SB10994
SB10996
SA10997
SB10990
SB10991
SB10992
SB10989
SB10988
SB10987
SK10986
SD10985
SK10984
SK10983
SK10982
SK10981
SK10980
SK10979
SK10978
SK10977
SK10976
SK10975
SK10974
SK10973
SK10972
SK10971
SK10970
SK10969
SK10968
SK10967
SK10966
SK10965
SK10964
SK10963
SK10962
SK10961
SK10960
SK10959
SK10958
SK10957
SK10956
SK10955
SK10954
SK10953
SK10952
SK10951
SK10950
SK10949
SK10948
SK10947
SK10946
SK10945
SK10944
SK10943
SK10942
SK10941
SK10940
SK10939
SK10938
SK10937
SK10936
SK10935
SK10934
SK10933
SK10932
SK10931
SK10930
SK10929
SK10928
SK10927
SK10926
SK10925
SK10924
SK10923
SK10922
SK10921
SK10920
SK10919
SK10918
SK10917
SK10916
SK10915
SK10914
SK10913
SK10912
SK10911
SK10910
SK10909
SK10908
SK10907
SK10906
SK10905
SK10904
SK10903
SK10902
SK10901
SK10900
SK10899
SK10898
SK10897
SK10896
SK10895
SK10894
SK10893
SK10892
SK10891
SK10890
SK10889
SK10888
SK10887
SK10886
SK10885
SK10884
SK10883
SK10882
SK10881
SK10880
SK10879
SK10878
SK10877
SK10876
SK10875
SK10874
SK10873
SK10872
SK10871
SK10870
SK10869
SK10868
SK10867
SK10866
SK10865
SK10864
SK10863
SK10862
SK10861
SK10860
SK10859
SK10858
SK10857
SK10856
SK10855
SK10854
SK10853
SK10852
SK10851
SK10850
SK10849
SK10848
SK10847
SK10846
SK10845
SK10844
SK10843
SK10842
SK10841
SK10840
SK10839
SK10838
SK10837
SK10836
SK10835
SK10834
SK10833
SK10832
SK10831
SK10830
SK10829
SK10828
SK10827
SK10826
SK10825
SK10824
SK10823
SK10822
SK10821
SK10820
SK10819
SK10818
SK10817
SK10816
SK10815
SK10814
SK10813
SK10812
SK10811
SK10810
SK10809
SK10808
SK10807
SK10806
SK10805
SK10804
SK10803
SK10802
SK10801
SK10800
SK10799
SK10798
SK10797
SK10796
SK10795
SK10794
SK10793
SK10792
SK10791
SK10790
SK10789
SK10788
SK10787
SK10786
SK10785
SK10784
SK10783
SK10782
SK10781
SK10780
SK10779
SK10778
SK10777
SK10776
SK10775
SK10774
SK10773
SK10772
SK10771
SK10770
SK10769
SK10768
SK10767
SK10766
SK10765
SK10764
SK10763
SK10762
SK10761
SK10760
SK10759
SK10758
SK10757
SK10756
SK10755
SK10754
SK10753
SK10752
SK10751
SK10750
SK10749
SK10748
SK10747
SK10746
SK10745
SK10744
SK10743
SK10742
SK10741
SK10740
SK10739
SK10738
SK10737
SK10736
SK10735
SK10734
SK10733
SK10732
SK10731
SK10730
SK10729
SK10728
SK10727
SK10726
SK10725
SK10724
SK10723
SK10722
SK10721
SK10720
SK10719
SK10718
SK10717
SK10716
SK10715
SK10714
SK10713
SK10712
SK10711
SK10710
SK10709
SK10708
SK10707
SK10706
SK10705
SK10704
SK10703
SK10702
SK10701
SK10700
SK10699
SK10698
SK10697
SK10696
SK10695
SK10694
SK10693
SK10692
SK10691
SK10690
SK10689
SK10688
SK10687
SK10686
SK10685
SK10684
SK10683
SK10682
SK10681
SK10680
SK10679
SK10678
SK10677
SK10676
SK10675
SK10674
SK10673
SK10672
SK10671
SK10670
SK10669
SK10668
SK10667
SK10666
SK10665
SK10664
SK10663
SK10662
SK10661
SK10660
SK10659
SK10658
SK10657
SK10656
SK10655
SK10654
SK10653
SK10652
SK10651
SK10650
SK10649
SK10648
SK10647
SK10646
SK10645
SK10644
SK10643
SK10642
SK10641
SK10640
SK10639
SK10638
SK10637
SK10636
SK10635
SK10634
SK10633
SK10632
SK10631
SK10630
SK10629
SK10628
SK10627
SK10626
SK10625
SK10624
SK10623
SK10622
SK10621
SK10620
SK10619
SK10618
SK10617
SK10616
SK10615
SK10614
SK10613
SK10612
SK10611
SK10610
SK10609
SK10608
SK10607
SK10606
SK10605
SK10604
SK10603
SK10602
SK10601
SK10600
SK10599
SK10598
SK10597
SK10596
SK10595
SK10594
SK10593
SK10592
SK10591
SK10590
SK10589
SK10588
SK10587
SK10586
SK10585
SK10584
SK10583
SK10582
SK10581
SK10580
SK10579
SK10578
SK10577
SK10576
SK10575
SK10574
SK10573
SK10572
SK10571
SK10570
SK10569
SK10568
SK10567
SK10566
SK10565
SK10564
SK10563
SK10562
SK10561
SK10560
SK10559
SK10558
SK10557
SK10556
SK10555
SK10554
SK10553
SK10552
SK10551
SK10550
SK10549
SK10548
SK10547
SK10546
SK10545
SK10544
SK10543
SK10542
SK10541
SK10540
SK10539
SK10538
SK10537
SK10536
SK10535
SK10534
SK10533
SK10532
SK10531
SK10530
SK10529
SK10528
SK10527
SK10526
SK10525
SK10524
SK10523
SK10522
SK10521
SK10520
SK10519
SK10518
SK10517
SK10516
SK10515
SK10514
SK10513
SK10512
SK10511
SK10510
SK10509
SK10508
SK10507
SK10506
SK10505
SK10504
SK10503
SK10502
SK10501
SK10500
SK10499
SK10498
SK10497
SK10496
SK10495
SK10494
SK10493
SK10492
SK10491
SK10490
SK10489
SK10488
SK10487
SK10486
SK10485
SK10484
SK10483
SK10482
SK10481
SK10480
SK10479
SK10478
SK10477
SK10476
SK10475
SK10474
SK10473
SK10472
SK10471
SK10470
SK10469
SK10468
SK10467
SK10466
SK10465
SK10464
SK10463
SK10462
SK10461
SK10460
SK10459
SK10458
SK10457
SK10456
SK10455
SK10454
SK10453
SK10452
SK10451
SK10450
SK10449
SK10448
SK10447
SK10446
SK10445
SK10444
SK10443
SK10442
SK10441
SK10440
SK10439
SK10438
SK10437
SK10436
SK10435
SK10434
SK10433
SK10432
SK10431
SK10430
SK10429
SK10428
SK10427
SK10426
SK10425
SK10424
SK10423
SK10422
SK10421
SK10420
SK10419
SK10418
SK10417
SK10416
SK10415
SK10414
SK10413
SK10412
SK10411
SK10410
SK10409
SK10408
SK10407
SK10406
SK10405
SK10404
SK10403
SK10402
SK10401
SK10400
SK10399
SK10398
SK10397
SK10396
SK10395
SK10394
SK10393
SK10392
SK10391
SK10390
SK10389
SK10388
SK10387
SK10386
SK10385
SK10384
SK10383
SK10382
SK10381
SK10380
SK10379
SK10378
SK10377
SK10376
SK10375
SK10374
SK10373
SK10372
SK10371
SK10370
SK10369
SK10368
SK10367
SK10366
SK10365
SK10364
SK10363
SK10362
SK10361
SK10360
SK10359
SK10358
SK10357
SK10356
SK10355
SK10354
SK10353
SK10352
SK10351
SK10350
SK10349
SK10348
SK10347
SK10346
SK10345
SK10344
SK10343
SK10342
SK10341
SK10340
SK10339
SK10338
SK10337
SK10336
SK10335
SK10334
SK10333
SK10332
SK10331
SK10330
SK10329
SK10328
SK10327
SK10326
SK10325
SK10324
SK10323
SK10322
SK10321
SK10320
SK10319
SK10318
SK10317
SK10316
SK10315
SK10314
SK10313
SK10312
SK10311
SK10310
SK10309
SK10308
SK10307
SK10306
SK10305
SK10304
SK10303
SK10302
SK10301
SK10300
SK10299
SK10298
SK10297
SK10296
SK10295
SK10294
SK10293
SK10292
SK10291
SK10290
SK10289
SK10288
SK10287
SK10286
SK10285
SK10284
SK10283
SK10282
SK10281
SK10280
SK10279
SK10278
SK10277
SK10276
SK10275
SK10274
SK10273
SK10272
SK10271
SK10270
SK10269
SK10268
SK10267
SK10266
SK10265
SK10264
SK10263
SK10262
SK10261
SK10260
SK10259
SK10258
SK10257
SK10256
SK10255
SK10254
SK10253
SK10252
SK10251
SK10250
SK10249
SK10248
SK10247
SK10246
SK10245
SK10244
SK10243
SK10242
SK10241
SK10240
SK10239
SK10238
SK10237
SK10236
SK10235
SK10234
SK10233
SK10232
SK10231
SK10230
SK10229
SK10228
SK10227
SK10226
SK10225
SK10224
SK10223
SK10222
SK10221
SK10220
SK10219
SK10218
SK10217
SK10216
SK10215
SK10214
SK10213
SK10212
SK10211
SK10210
SK10209
SK10208
SK10207
SK10206
SK10205
SK10204
SK10203
SK10202
SK10201
SK10200
SK10199
SK10198
SK10197
SK10196
SK10195
SK10194
SK10193
SK10192
SK10191
SK10190
SK10189
SK10188
SK10187
SK10186
SK10185
SK10184
SK10183
SK10182
SK10181
SK10180
SK10179
SK10178
SK10177
SK10176
SK10175
SK10174
SK10173
SK10172
SK10171
SK10170
SK10169
SK10168
SK10167
SK10166
SK10165
SK10164
SK10163
SK10162
SK10161
SK10160
SK10159
SK10158
SK10157
SK10156
SK10155
SK10154
SK10153
SK10152
SK10151
SK10150
SK10149
SK10148
SK10147
SK10146
SK10145
SK10144
SK10143
SK10142
SK10141
SK10140
SK10139
SK10138
SK10137
SK10136
SK10135
SK10134
SK10133
SK10132
SK10131
SK10130
SK10129
SK10128
SK10127
SK10126
SK10125
SK10124
SK10123
SK10122
SK10121
SK10120
SK10119
SK10118
SK10117
SK10116
SK10115
SK10114
SK10113
SK10112
SK10111
SK10110
SK10109
SK10108
SK10107
SK10106
SK10105
SK10104
SK10103
SK10102
SK10101
SK10100
SK10099
SK10098
SK10097
SK10096
SK10095
SK10094
SK10093
SK10092
SK10091
SK10090
SK10089
SK10088
SK10087
SK10086
SK10085
SK10084
SK10083
SK10082
SK10081
SK10080
SK10079
SK10078
SK10077
SK10076
SK10075
SK10074
SK10073
SK10072
SK10071
SK10070
SK10069
SK10068
SK10067
SK10066
SK10065
SK10064
SK10063
SK10062
SK10061
SK10060
SK10059
SK10058
SK10057
SK10056
SK10055
SK10054
SK10053
SK10052
SK10051
SK10050
SK10049
SK10048
SK10047
SK10046
SK10045
SK10044
SK10043
SK10042
SK10041
SK10040
SK10039
SK10038
SK10037
SK10036
SK10035
SK10034
SK10033
SK10032
SK10031
SK10030
SK10029
SK10028
SK10027
SK10026
SK10025
SK10024
SK10023
SK10022
SK10021
SK10020
SK10019
SK10018
SK10017
SK10016
SK10015
SK10014
SK10013
SK10012
SK10011
SK10010
SK10009
SK10008
SK10007
SK10006
SK10005
SK10004
SK10003
SK10002
SK10001
SK10000
SK10999
SK10998
SK10997
SK10996
SK10995
SK10994
SK10993
SK10992
SK10991
SK10990
SK10989
SK10988
SK10987
SK10986
SK



第Ⅱ－４図　第 188 次調査　土層断面図 (1/100)

SF10999は、両側溝の出土遺物では正確な時期は不明だが、重複関係からⅡ-3期以前に掘削された可能性がある。斎宮Ⅲ期以降の遺物は、重複する遺構からの混入と推測される。

SF11000　調査区の西側で検出したSD10949を西側溝、SD10967を東側溝とする南北道路であるが、後述するSF11001の側溝や土坑等と重複しており、両側溝の大部分が失われている。

道路幅は両側溝の内側で4.0～4.2ｍを測り、方位は西側溝の残存長が短いため不正確ではあるが、SD10967の主軸はＮ23°Ｅである。SD10949は幅が0.6～0.7ｍ、長さは2.0ｍ以上で北側は調査区外に続く。深さは0.2～0.25ｍで、断面形状は逆台形を呈す。重複関係からSF11001の西側側溝SD10948やSZ10960より古い。出土遺物は土師器の細片のみである。

SD10967は幅が0.6～0.7ｍ、長さは10.0ｍ以上で、南北両側で調査区外に続く。深さは0.25～0.35ｍで、断面形状は逆台形を呈す。重複関係からSF11001の東側溝SD9859より古い。また、第154次調査概報では未報告だが、SD10967の北側延長線には同程度の幅、深さの溝が一条確認されており、もしSD10967と同一の溝であれば17ｍ以上である。この溝の重複関係は、斎宮Ⅱ-4期の遺物が出土したSK9860や平安時代後期とされるSD9857よりも古い。出土遺物は、斎宮Ⅱ-3期以前の土師器皿や杯（第Ⅱ－５図15～17）がみられる。SF11000は両側溝の重複関係や出土遺物から、Ⅱ-3期以前に掘削された南北道路である。

（2）平安時代中～後期前半の遺構

①　SF11000の廃絶後に掘削された遺構

SZ10951　調査区西側のSF11000の路面上に掘削された方形の落ち込みで、下層から複数の土坑（SK10952・10953・10954・10955・10956）やピット等を検出した。SZ10951の規模は、東西幅2.8ｍ、南北幅3.2ｍで、深さは内部の土坑やピットを除き0.2～0.4ｍとなる。

SZ10951内の土坑群

SK10952　SZ10951の内側、南西部で検出した楕円形土坑で、東西幅0.7ｍ、南北幅1.3ｍ、深さ0.7ｍとなる。重複関係からSK10953より新しいと考えられるが、同一の落ち込み内のため明確な時期差があるかはわからない。

SK10953　SZ10951の内側、西部で検出した円形土坑で、東西幅0.75ｍ、南北幅0.8ｍ、深さ0.45ｍとなる。先述した通り重複関係からSK10952より古いと考えられる。

SK10954　SZ10951の内側、北部で検出した楕円形土坑で、東西幅1.1ｍ、南北幅0.9ｍ、深さ0.4ｍとなる。

SK10955　SZ10951の内側、北東部で検出した楕円形土坑で、東西幅0.7m、南北幅1.0m、深さ0.55mとなる。重複関係からSZ10963・10966より古い。斎宮Ⅱ-4期と考えられる遺物（第Ⅱ－5図23）が出土した。東西幅0.75m、南北幅1.2m、深さ0.4～0.5mとなる。重複関係からSK10956より新しいが、同一の落ち込み内のため明確な時期差があるかはわからない。

SK10956　SZ10951の内側、南東部で検出した隅丸方形土坑で、東西幅1.95m、南北幅1.5m、深さ0.65mとなる。先述した通り重複関係からSK10955より古いと考えられる。

SZ10951を含め、各落ち込みからは斎宮Ⅱ-4期前後の遺物（第Ⅱ－5図18～24）が出土し、SK9860（第154次調査）と同様にSF11000が使用されなくなった後に、掘削されたものと考えられる。

SZ10957　SF11000の南側で検出した不整形の落ち込みで、下層から複数のピット等を検出した。東西幅1.25m、南北幅1.35m以上、深さ0.4mとなる。出土遺物は少なく、明確な時期は示せないが、重複関係からSZ10959より古く、斎宮Ⅱ-4～Ⅲ-1期以前と考えられる。

南側の落ち込み群

SZ10958　SF11000の南側で検出した円形落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.5m、南北幅1.5m、深さ0.5m以上となる。重複関係からSZ10959より古い。斎宮Ⅱ-4～Ⅲ-1期の遺物（第Ⅱ－5図25～31）が出土した。

SZ10959　SF11000の南側で検出した円形落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.5m、南北幅1.5m、深さ0.5m以上となる。重複関係からSZ10957・10958より新しい。斎宮Ⅱ-4～Ⅲ-1期の遺物（第Ⅱ－5図32～46）が出土した。

北側の落ち込み・土坑群

SZ10960　SF11000の北側で検出した落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.0m、南北幅2.2m以上、深さ0.4～0.6mとなる。重複関係からSZ10961・10964より新しく、SF11001西側溝SD10948より古い。斎宮Ⅱ-4～Ⅲ-1期の遺物（第Ⅱ－6図47～51）が出土した。

SZ10961　SF11000の北側で検出した溝状の落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.0m、南北幅3.5m以上、深さ0.6mとなる。出土遺物（第Ⅱ－6図52・53）はほとんどみられないが、重複関係からSZ10962より新しく、SF11001東側溝SD9859・SZ10960より古いため、SZ10961も斎宮Ⅱ-4～Ⅲ-1期と考えられる。

SZ10962　SF11000の北側で検出した落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.25m以上、南北幅1.5m以上、深さ0.55mとなる。重複関係からSF11001東側溝SD9859・SZ10961より古い。斎宮Ⅱ-4～Ⅲ-1期の遺物（第Ⅱ－6図54～57）が出土した。

SZ10963　SF11000の北側で検出した落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.1m、南北幅1.05m、深さ0.55mとなる。斎宮Ⅱ-2～Ⅱ-3期の遺物（第Ⅱ－6図58・59）が出土しているが、重複関係からSK10965・10966より新しく、混入したものと考えられる。

SZ10964　SF11000の北側で検出した落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.15m、南北幅3.5m、深さ0.5～0.6mとなる。重複関係からSF11001東側溝SD9859・SZ10960より古い。須恵器の壺類（第Ⅱ－6図60）が出土した。

SK10965　SF11000の北側で検出した土坑で、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅0.65m以上、南北幅0.8m以上、深さ0.6mとなる。重複関係からSZ10963・10966より古い。斎宮Ⅱ-4期と考えられる遺物（第Ⅱ－6図61・62）が出土した。

SZ10966　SF11000の北側で検出した落ち込みで、下層から複数の土坑やピット等を検出した。東西幅1.5m以上、南北幅1.0m以上、深さ0.55mとなる。重複関係からSK10965より新しく、SZ10963より古い。斎宮Ⅱ-4期以降と考えられる遺物（第Ⅱ－6図63）が出土した。

②　SF11000より東に位置する遺構

SB10983　調査区東側で検出した桁行3間（5.4m）以上×梁行2間（3.5m）と考えられる東西棟の掘立柱建物で、西側は調査区外に続く。東側の妻柱は、SD10982との重複により認識できなかった。方位はN18°Eで、柱間寸法は、桁行が1.7～1.9m、梁行は妻柱が未確認であるためわからない。重複関係からSF10999の東西側溝SD9864・10982より新しい。いくつかの柱穴から斎宮Ⅱ-4期以降の遺物（第Ⅱ－6図64～74）が出土している。

SB10988　調査区東側で検出した桁行3間（5.4m）×梁行2間（3.35m）の南北棟の掘立柱建物で、方位はN16°Eとなる。柱間寸法は、桁行が1.4～2.35m、梁行が1.6～1.8mとなる。重複関係からS110990より古い。柱穴から斎宮Ⅱ-4期に遡る遺物（第Ⅱ－6図75）が出土している。

SK10968　調査区中央のSF11000東側溝であるSD10967に隣接して掘削された楕円形の土坑で、東西幅0.7m、南北幅1.0m、深さ0.55mとなる。斎宮Ⅱ-4期の遺物（第Ⅱ－6図76）が出土している。

（3）平安時代後期前半以降の遺構

①　道路遺構

SF11001　調査区の西側で検出したSD9859を東側溝、SD10948を西側溝とする南北道路で、道路幅は両側溝の内側で3.5mである。道路北端の中心と南端の中心を結んだ直線の方位は、N19～20°Eとなる。SD9859は第154次調査で既に検出されており、長さは22m以上、幅は0.7～1.0mで、南側は調査区外に続く。深さは0.4～0.5mで、断面形状は逆台形となるが、東側は直立し、西側はやや緩やかに傾斜する。重複関係からSF11000の東側溝SD10967、SZ10951・10961・10962・10964、SK10955より新しい。斎宮Ⅲ-2期以降の遺物（第Ⅱ－6図77～104）が出土している。

SD10948は、長さは13.7m以上、幅は0.45mで、南北共に調査区外に続く。深さは0.25～0.5mで、断面形状はU字形を呈す。重複関係からSD10949・SZ10960より新しい。斎宮Ⅲ-1～2期の遺物（第Ⅱ－6図105～108）が出土している。SF11001は両側溝の重複関係や出土遺物から、SF11000が機能を失い、斎宮Ⅱ-4～Ⅳ期頃に多数の落ち込み・土坑が掘削（土取り）された後に、SF11000とほぼ同一場所に再設された道路であると考えられる。

②　竪穴建物等

SI10990　調査区東側で検出した隅丸方形の竪穴建物で、東西幅4.0m、南北幅3.5m、深さ0.15～0.25mとなる。床面付近の埋土からは地山由来の粘質土や焼土を多数検出したが、特に北東部の約1.5m四方の範囲に集中する。

床面に接して粘質土や焼土、炭化物が散見し、また鉄滓や鉄製品および鉄片が出土していることから、鍛冶に関連する炉等が構築されていたと考えられる。この範囲内では、西側の南北方向の帯状の粘質土が、途中で約0.15m途切れるが、輪羽口等の送風管が設置されていた可能性がある。重複関係からSB10988より新しい。斎宮Ⅲ-3～4期の土器（第Ⅱ－7図109・110）が焼土に含まれており、それ以降に操業したと考えられる。

SB10989　SI10990を囲むように建てられた桁行4～5間（6.0m）×梁行3間（5.4m）の南北棟の掘立柱建物で、方位はN16°Eとなる。柱間寸法は、桁行1.4～1.65m、梁行1.5～2.0mとなるが、他の掘立柱建物と比べ、全体的に不規則な柱配置となり、桁行の明確な間数を確定できなかった。SB10988と重複するが、先後関係は不明である。

柱穴からは、斎宮Ⅱ～Ⅲ期の遺物（第Ⅱ－7図135・136）が出土したが、正確な時期は断定できない。SI10990では床面から主柱穴を検出していないため、SB10989がSI10990の覆い屋として機能した可能性がある。

SD10991　SI10990と接続する幅0.2～0.45m、長さ6.8mの溝で、SI10990と接続する箇所が最も深く0.1m、南端部で0.05mとなる。SI10990が鍛冶工房であると考えれば、建物から煙や水等を排出するような機能が想定できる。重複関係よりSB10995より新しい。出土遺物はほとんどみられないが、SI10990との関係性から斎宮Ⅲ-3～4期以降と考えられる。

③　掘立柱建物・柵

SA10946　調査区西側で検出した柵と考えられる3間（6.7m）以上の南北軸の柱列で、北側は調査区外に続く。方位はN17°Eで、柱間寸法は2.0～2.1mである。重複はみられないが、後述SB10950と隣接して並行することからSB10950の建て替え等の可能性もある。柱穴から斎宮Ⅲ-3期の遺物（第Ⅱ－7図137）が出土している。

SB10950　調査区西側で検出した桁行3間（6.8m）以上×梁行3間（6.4m）以上と考えられる東西棟の掘立柱建物で、方位はN18°Eとなる。身舎は、桁行2間（4.8m）×梁行2間（4.0m）となり、西・南にそれぞれ廂が取り付く構造であると考えられる。身舎の柱間寸法は、桁行2.5m、梁行2.1m、廂は西側で1.9m、南側で2.15mとなる。

その他、北側と東側にも廂が取り付き、四面廂となった可能性も考えられるものの、北側柱列に該当する部分が未調査であり、また柱並びが不安定なため確定できなかった。重複はみられないが、先述したSA10946がSB10950西辺の建て替えの可能性がある。柱穴からは、斎宮Ⅱ期やⅢ-3～4期の遺物（第Ⅱ－7図138～140）が出土している。

SB10970　調査区東側で検出した桁行3間（7.4m）×梁行3間（6.0m）と考えられる東西棟の総柱建物で、方位はN17°Eとなる。柱間寸法は桁行2.4～2.5m、梁行1.9～2.1mとなる。重複はみられない。柱穴からは、斎宮Ⅲ-3～4期の遺物（第Ⅱ－7図141～148）が出土している。

SB10974　調査区東側で検出した桁行３間（5.5ｍ）×梁行２間（4.6ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、方位はＮ22°Ｅとなる。柱間寸法は桁行1.4～2.1ｍ、梁行2.1～2.4ｍとなる。重複関係からSF10999西側溝SD9864より新しく、SB10998より古い。柱穴からは、斎宮Ⅱ-4期～Ⅲ-3期の遺物（第Ⅱ－７図149・150）が出土している。

SB10975　調査区東側で検出した桁行３間（5.8ｍ）×梁行２間（4.7ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、方位はＮ25°Ｅとなる。柱間寸法は桁行1.55～2.35ｍ、梁行2.4～2.45ｍとなる。重複関係からSF10999西側溝SD9864より新しい。柱穴からは、斎宮Ⅲ期の遺物（第Ⅱ－７図151・152）が出土している。

SB10977　調査区東側で検出した桁行３間（6.0ｍ）×梁行２間（4.0ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、方位はＮ18°Ｅとなる。柱間寸法は桁行1.9～2.2ｍ、梁行1.8～2.2ｍとなる。重複関係からSF10999の側溝SD9864・10982より新しい。柱穴からは、斎宮Ⅲ期以降の遺物がわずかに出土している。

SB10978　調査区東側で検出した桁行３間（5.6ｍ）×梁行２間（4.1ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、方位はＮ15°Ｅとなる。柱間寸法は桁行1.5～2.3ｍ、梁行2.0～2.1ｍとなる。重複関係はみられない。柱穴からは、斎宮Ⅱ-3期～Ⅲ期の遺物（第Ⅱ－７図153～155）が出土している。

SB10980　調査区東側で検出した桁行３間（6.5ｍ）×梁行２間（4.4ｍ）の東西棟の掘立柱建物で、方位はＮ16°Ｅとなる。柱間寸法は桁行2.05～2.4ｍ、梁行2.2ｍとなる。重複はみられない。柱穴からは、斎宮Ⅲ-3～4期以降の遺物（第Ⅱ－７図156～158）が出土している。

SB10984　調査区東側で検出した桁行３間（5.8ｍ）×梁行１間（2.15ｍ）以上の東西棟と考えられる掘立柱建物で、方位はＮ16°Ｅとなる。柱間寸法は桁行1.8～2.15ｍ、梁行2.15ｍとなる。重複関係からSF10999側溝SD9864・10982、SB10985より新しい。柱穴からは、斎宮Ⅲ期以降の遺物（第Ⅱ－７図159～161）が出土している。

SB10985　調査区東側で検出した桁行３間（7.85ｍ）×梁行２間（4.35ｍ）以上の東西棟の掘立柱建物で、方位はＮ15°Ｅとなる。柱間寸法は桁行2.5～2.8ｍ、梁行2.1～2.25ｍとなる。重複関係からSF10999東側溝SD10982より新しく、SB10984より古い。柱穴からは、斎宮Ⅲ期以降の遺物（第Ⅱ－７図162～175）が出土している。

SB10993　調査区北東側で検出した桁行２間（4.1ｍ）以上×梁行２間（3.9ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、北側は調査区外に続く。方位はＮ20°Ｅとなる。柱間寸法は、桁行2.0ｍ、梁行1.8～2.1ｍである。重複関係からSB10994より古い。柱穴からは、斎宮Ⅲ期の遺物（第Ⅱ－７図176～178）が出土している。

SB10994　調査区北東側で検出した桁行２間（4.1ｍ）以上×梁行２間（3.9ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、北側は調査区外に続く。方位はＮ20°Ｅとなる。柱間寸法は、桁行2.0ｍ、梁行1.8～2.1ｍである。重複関係からSB10993より新しい。柱穴からは、斎宮Ⅲ期の遺物（第Ⅱ－７図179）が出土している。

SB10995　調査区南東側で検出した桁行４間（8.45ｍ）×梁行１間（2.0ｍ）以上の東西棟と考えられる掘立柱建物で、南側は調査区外に続く。方位はＮ16°Ｅとなる。柱間寸法は、桁行1.95～2.15ｍ、梁行2.0ｍである。重複関係からSD10991より新しい。東側に１間分の廂が付く可能性がある。柱穴からは、斎宮Ⅲ期以降の遺物がわずかに出土している。

SA10997　調査区南東側で検出した２間（3.7ｍ）以上の南北軸の柱列で、南側・東側共に調査区外に続くため、柵であるか掘立柱建物であるかは確定できていない。方位は柱穴３基からの計測であるため不正確であるが、Ｎ22°Ｅとなる。柱間寸法は1.7～2.0ｍである。SD10996と重複するものの、先後関係はわからない。柱穴から斎宮Ⅲ期以降の遺物（第Ⅱ－７図180）が出土している。

SB10998　調査区北東側で検出した桁行３間（6.5ｍ）×梁行２間（4.4ｍ）の南北棟の掘立柱建物で、北側柱列は第154次調査で検出している。方位はＮ18°Ｅとなる。柱間寸法は、桁行1.6～2.5ｍ、梁行2.2ｍである。重複関係からSB10974より新しく、SK10969より古い。柱穴からは、斎宮Ⅲ-2～４期の遺物（第Ⅱ－７図181～184）が出土している。

④　土坑・溝等

SK10947　調査区の西側、SB10950の南側で検出した楕円形の土坑で、東西幅0.9ｍ、南北幅0.6ｍ、深さ0.1ｍ以上となる。重複関係はみられない。斎宮Ⅲ期以降の遺物が出土している。

SK10969　調査区の東側、SB10970の北西側で検出した楕円形の土坑で、東西幅1.35ｍ、南北幅2.4ｍ、深さ0.15ｍであるが、内部に東西幅0.7ｍ、南北幅0.9ｍ、深さ0.4ｍのピット状の落ち込みがみられる。ピット内およびその周辺には0.2～0.3ｍ程の多数の礫が散乱していた。重複関係からSB10998より新しい。斎宮Ⅲ-2～３期の遺物（第Ⅱ－８図

185～194）が出土している。

SK10971　調査区の東側、SB10970の南西側で検出した楕円形の土坑で、東西幅1.2m、南北幅1.2m、深さ0.25mである。重複関係はみられない。斎宮Ⅲ-2～3期の遺物（第Ⅱ-8図195～198）が出土している。

SK10972　調査区の東側、SB10985の西側で検出した楕円形の土坑で、東西幅1.45m、南北幅2.4m以上で南側は調査区外に続く。深さは、場所によって底面形状が異なり、浅い場所では0.15m、深い場所では0.3mである。重複関係はみられない。斎宮Ⅲ-2～4期の遺物（第Ⅱ-8図199～202）が出土している。

SK10973　調査区の東側、SB10998の北東側で検出した楕円形の土坑で、北側は第154次調査で検出している。東西幅1.1m、南北幅1.6m、深さ0.1m以上である。重複関係はみられない。斎宮Ⅲ期の遺物（第Ⅱ-8図203～205）が出土している。

SK10976　調査区の東側、SB10977・10978の北側で検出した楕円形の土坑で、北側は調査区外に続く。東西幅2.15m、南北幅1.0m以上、深さ0.3mである。重複関係はみられない。斎宮Ⅲ-3～4期の遺物（第Ⅱ-8図206～212）が出土している。

SK10979　調査区の東側、SB10977の南東内部で検出した倒卵形の土坑で、東西幅0.8m、南北幅1.2m、深さ0.07m以上である。重複関係はみられない。斎宮Ⅲ期の遺物（第Ⅱ-8図213）が出土している。

SK10986　調査区の南東側、SB10984の南東側、SB10985の北西側で検出した楕円形の土坑で、西側は調査区外に続く。東西幅1.6m以上、南北幅1.15m、深さ0.2mである。重複関係からSF10999の西側溝SD9864より新しい。斎宮Ⅲ-2～3期の遺物（第Ⅱ-8図214～225）が出土している。

SK10987　調査区の東側、SB10980の北東内部で検出した楕円形の土坑で、東西幅1.0m、南北幅1.7m、深さ0.15mで、重複関係はみられない。斎宮Ⅲ-2期以降の遺物（第Ⅱ-8図226）が出土している。

（4）時期不明の遺構

SK10981　調査区の東側、SB10978・10980の南西で検出した楕円形の土坑で東西幅0.9m、南北幅1.0m、深さ0.05m以上である。重複関係はみられない。遺物はほとんど出土しなかったが、周囲の建物に付随して掘削された土坑であれば、Ⅲ期以降の可能性が高いと考えられる。

SD10992　調査区の南東側で検出した幅0.15m、長さ2.3m以上の南北方向の溝で、深さ0.05mである。重複関係はみられない。遺物はほとんど出土しなかったため、時期は不明である。

SD10996　調査区の南東側で検出した幅0.35m、長さ6.8m以上の南北方向の溝で、深さ0.1～0.15mである。SA10997と重複するが、先後関係はわからなかった。遺物はほとんど出土しなかったため、時期は不明である。

遺構名	調査時遺構名	ピット番号 ※( )はグリッド番号	遺物時期	規模 間(m)×間(m)					柱間寸法(m)	柱痕形(m)	主軸	方位 (N磁北)	備考
SA 10946	柱列1	(s16)P1/(s20)P1/(s20)P3	Ⅲ-3	3以上(6.7)					2.0～2.1	0.3～0.4	南北	N 17° E	
SB 10950	建物1	(s16)P1,P4/(s20)P1,P2/(s20)P2,P3,P4/(s20)P1/(s21)P1/(s23)P1	Ⅲ-3～Ⅲ-4	2	(4.8)	×	2	(4.0)	(桁行)1.8～2.55 (梁行)2.05～2.1 (西面)1.9 (東面)2.15	0.3～0.4	東西	N 18° E	部分総柱
SB 10970	建物3	(s20)P4/(s20)P2,P11,P14/(s20)P9,P14/(s21)P2,P5/(s21)P1,P2,P16/(s21)P6/(s22)P6	Ⅲ-3～Ⅲ-4	3	(7.4)	×	3	(6.0)	(桁行)2.4～2.5 (梁行)1.9～2.1	0.3～0.5	東西	N 17° E	部分総柱
SB 10974	建物4	(s20)P6/(s21)P3,P15/(s21)P2/(s22)P1	Ⅱ-4～Ⅲ-3	3	(5.5)	×	2	(4.6)	(桁行)1.4～2.1 (梁行)2.1～2.4	0.4～0.6	南北	N 22° E	SD9864より新 SB10998より古
SB 10975	建物5	(s20)P5/(s20)P5/(s21)P2,P13/(s21)P8,P12/(s22)P15	Ⅲ	3	(5.8)	×	2	(4.7)	(桁行)1.55～2.35 (梁行)2.4～2.45	0.3～0.5	南北	N 25° E	SD9864より新
SB 10977	建物6	(s20)P16/(s21)P11,P18,P20/(s21)P17/(s22)P4	Ⅲ以降	3	(6.0)	×	2	(4.6)	(桁行)1.9～2.2 (梁行)1.8～2.2	0.3～0.4	南北	N 18° E	SD9864→10982より新
SB 10978	建物7	(s20)P4/(s20)P2/(s21)P10,P15/(s21)P6,P10,P12,P13/(s22)P10/(s22)P6,P8	Ⅱ-3～Ⅲ	3	(5.6)	×	2	(4.1)	(桁行)1.5～2.3 (梁行)2.0～2.1	0.3～0.5	南北	N 15° E	SD10982より新
SB 10980	建物8	(s21)P1,P14/(s21)P5,P6,P14/(s22)P9/(s22)P7,P8,P16	Ⅲ-3～Ⅲ-4	3	(6.5)	×	2	(4.4)	(桁行)2.05～2.4 (梁行)2.2	0.3～0.4	東西	N 16° E	SD10982より新
SB 10983	建物12	(s22)P10/(s22)P4,P6,P12,P16/(s24)P16/(s23)P12	Ⅱ-4～Ⅲ-1	3以上	(5.4)以上	×	2	(3.5)	(桁行)1.7～1.9 (梁行)1.75?	0.4～0.6	東西	N 18° E	SD9864→10982より新
SB 10984	建物13	(s23)P1/(s23)P2,P4	Ⅲ以降	3	(5.8)	×	1以上	(2.15)以上	(桁行)1.8～2.15 (梁行)2.15	0.3～0.5	東西?	N 16° E	SD9864→10982→SB10985より新
SB 10985	建物11	(s22)P3/(s22)P4,P13/(s22)P15/(s23)P3,P22	Ⅲ以降	3	(7.85)	×	2	(4.35)	(桁行)2.5～2.8 (梁行)2.1～2.25	0.5～0.7	東西	N 15° E	SD10982より新 SB10984より古
SB 10988	建物14	(w22)P1,P20/(s23)P17/(w23)P3,P6	Ⅱ-4～Ⅲ-1	3	(5.4)	×	2	(3.35)	(桁行)1.4～2.35 (梁行)1.6～1.8	0.2～0.4	南北	N 16° E	SB10990より古
SB 10989	建物15	(w23)P6,P18,P20/(w23)P8,P9,P15,P16/(s23)P2,P6,P8,P9/(w23)P1,P7,P11,P12/(w24)P7	Ⅱ～Ⅲ	4～5	(6.0)	×	3	(5.45)	(桁行)1.4～1.65 (梁行)1.5～2.0	0.3～0.5	南北	N 16° E	SB10990の殘い屋
SB 10993	建物9	(w21)P10,P11/(s21)P3/(s22)P2	Ⅲ	2以上	(4.1)以上	×	2	(3.9)	(桁行)2.0 (梁行)1.8～2.1	0.3～0.4	南北	N 20° E	SB10994より古
SB 10994	建物10	(w23)P12/(s23)P4/(s22)P1	Ⅲ	2以上	(4.1)以上	×	2	(3.9)	(桁行)2.0 (梁行)1.8～2.1	0.3～0.4	南北	N 20° E	SB10993より新
SB 10995	建物16	(s24)P1,P5,P12/(s24)P5/(w24)P2/(s25)P1	Ⅲ以降	4	(8.45)	×	1以上	(2.6)以上	(桁行)1.95～2.15 (梁行)2.0 (庇間)2.2	0.3～0.6	東西	N 16° E	SD10991より古 片面庇付建物か? 殿か?
SA 10997	建物17	(s24)P1,P14/(s25)P2	Ⅲ以降	2以上(3.7)					1.7～2.0	0.3～0.5	南北?	N 22° E	掘立柱建物か? SD10996と重複
SB 10998	建物2	(s20)P2/(s20)P1/(s21)P8/(s21)P6,P10,P20	Ⅲ-2～Ⅲ-4	3	(6.5)	×	2	(4.4)	(桁行)1.6～2.5 (梁行)2.2	0.3～0.5	南北	N 18° E	SB10997より新 SK10969より古

第Ⅱ－1表　第188次調査　掘立柱建物一覧表

遺構名	調査時遺構名	グリッド	遺物時期	出土遺物	備考
SD 9859	溝7	r19～21，q21～22	Ⅲ-2以降	土師器杯・小皿・甕・甑，ロクロ土師器椀・小皿，須恵器，灰釉陶器椀・瓶類，黒色土器，志摩式製塩土器，土錘	SZ10951・10961・10962・10964・SK10955・SD10967より新
SD 9864	溝4	v24，u20～25	Ⅱ-3以前	土師器杯・小皿・甕・甑，灰釉陶器椀・瓶類，陶器山茶椀，転用硯（前期以降の遺物混入）	SA9861・SB10974・10975・10983・10984・SK9860・10986より古
SK 10947	土坑12	o21	Ⅲ以降	土師器杯・鍋	SB10950と関連か？
SD 10948	溝17	p20～22，q19～21	Ⅲ-1～2	土師器杯・甕，陶器山茶椀，白磁小椀	SD10949・SZ10960より新
SD 10949	溝18	q19	不明	土師器	SD10948・SZ10960より古
SZ 10951	落込16	q20～21	Ⅱ-4	土師器杯・椀・高杯・甕，須恵器甕・壺，灰釉陶器椀，黒色土器	SK10952～10956より新 SD9859より古
SK 10952	土坑22	q21	不明	土師器	SK10953より新 SZ10951より古
SK 10953	土坑25	q20～21	Ⅱ-4？	土師器杯，須恵器盤	SZ10951・SK10952より古
SK 10954	土坑24	q20～21	不明	土師器	SK10956より新 SZ10951より古
SK 10955	土坑21	q21	不明	土師器，須恵器甕	SD9859・SZ10951より古
SK 10956	土坑20	q21	Ⅱ-4	土師器杯・甕，灰釉陶器椀	SZ10951・SK10954より古
SZ 10957	土坑26	p21～22，q21～22	Ⅱ-4～Ⅲ-2？	土師器台付椀	SZ10959より古
SZ 10958	落込36	q20～22	Ⅱ-4～Ⅲ-1	土師器杯，ロクロ土師器台付皿，須恵器甕，灰釉陶器椀・瓶類	SZ10959より古
SZ 10959	落込13	p22，q21～22	Ⅱ-4～Ⅲ-1	土師器杯・甕・甑・円筒形土器，須恵器盤・甕，灰釉陶器椀・壺，志摩式製塩土器，鉄滓	SZ10957・10958より新
SZ 10960	落込15	q19	Ⅱ-4～Ⅲ-1	土師器杯・皿・高杯・鍋，ロクロ土師器椀，須恵器甕，灰釉陶器椀	SZ10961・10964より新 SD10948より古
SZ 10961	落込19	q19，r19	Ⅱ-4～Ⅲ-1	土師器鍋・甕	SZ10962より新 SD9859・SZ10960より古
SZ 10962	落込9	r19	Ⅱ-4～Ⅲ-1	土師器杯・甕，須恵器甕，灰釉陶器椀	SD9859・SZ10961より古
SZ 10963	土坑14	q20	Ⅱ-2～Ⅱ-3（混入）	土師器杯・鍋，灰釉陶器，滑石	SK10965・SZ10966より新
SZ 10964	落込8	q19～20，r20	Ⅱ-4～Ⅲ-1	土師器椀，須恵器甕	SD9859・SZ10960より古
SK 10965	土坑37	q20	Ⅱ-4	土師器杯	SZ10963・10966より古
SZ 10966	土坑23	q20	Ⅱ-4以降	ロクロ土師器台付杯，須恵器甕，緑釉陶器	SK10965より新 SZ10963より古
SD 10967	溝5	r19～21，s20	Ⅱ-3以前	土師器皿・杯・甕，須恵器甕，土錘	SD9859より古
SK 10968	土坑3	r20	Ⅱ-4	土師器皿	
SK 10969	土坑1	t20，t20	Ⅲ-2～Ⅲ-3	土師器杯・台付皿・鍋，ロクロ土師器小皿，須恵器甕，灰釉陶器椀，瓦器椀，白磁，鉄製品	SB10998より新
SK 10971	土坑6	s21	Ⅲ-2～Ⅲ-3	土師器杯・台付小皿，ロクロ土師器，陶器山皿，鉄製品	
SK 10972	土坑10	s22，t22	Ⅲ-2～Ⅱ-4	土師器小皿・甕・鍋，ロクロ土師器小皿，灰釉陶器椀・皿，黒色土器椀	
SK 10973	土坑2	u20	Ⅲ	ロクロ土師器，瓦器椀，須恵器	
SK 10976	土坑27	v20	Ⅲ-3～Ⅲ-4	土師器杯・小皿・鍋，ロクロ土師器，灰釉陶器椀・瓶類，瓦器椀，土錘	
SK 10979	土坑28	v21	Ⅲ	土師器杯・小皿・鍋，灰釉陶器，白磁，石鏃	
SK 10981	土坑11	v22	不明	土師器	
SD 10982	溝30	u23～24，v20～25，w20	Ⅱ-4以前	土師器高杯・鍋，灰釉陶器椀・瓶類，緑釉陶器，陶器山茶椀，瓦器	SB10977・10978・10980・10983・10984・10985より古
SK 10986	土坑29	u23～24	Ⅲ-2～3	土師器杯・小皿・高杯・甕・鍋，ロクロ土師器杯，須恵器甕，灰釉陶器椀・小椀，緑釉陶器	SD9864より新
SK 10987	土坑32	w21	Ⅲ-2以降	土師器皿，灰釉陶器小椀	
SI 10990	竪穴31	v22～23，w22～23	Ⅲ-4以降	土師器杯・小皿・鍋，ロクロ土師器杯，灰釉陶器椀，緑釉陶器，陶器山茶椀・山皿，土錘，白玉石，鉄製品，鉄滓	SB10988と新
SD 10991	溝33	v23～24	不明	土師器，灰釉陶器	SB10995と新 SB10990と一連か？
SD 10992	溝35	w24	不明	土師器	
SD 10996	溝34	u24～25，y23～25	不明	土師器	SA10997と重複
SF 10999	—	u20～25，v20～25	Ⅱ-3以前		西側溝SD9864・東側溝SD10982
SF 11000	—	q19，r19～21	Ⅱ-3以前		西側溝SD10949・東側溝SD10967
SF 11001	—	p20～22，q19～20，r19～21	Ⅱ-4～Ⅳ		西側溝SD10948・東側溝SD9859

第Ⅱ－2表　第188次調査　遺構一覧表

4　遺物

遺物はコンテナバット60箱分が出土しており、主に平安時代後期から鎌倉時代の遺物がある（第Ⅱ－５～11図）。

（1）平安時代前期以前の遺構出土遺物

SF10999・SD9864出土遺物（１～10）　１～６は土師器で、１・２は杯D、３・４は皿D、５は甕あるいは鍋の口縁部、６は甑。斎宮Ⅲ-２～３期に相当する。７・８は灰釉陶器椀、９は白磁椀の口縁部、10は陶器山茶椀の高台部。土師器以外も概ね斎宮Ⅲ期以降を中心とする。

先述した通り、SD9864は重複関係から斎宮Ⅱ-４期よりも古く、またこれらの斎宮Ⅲ期以降の遺物はいずれも小片であるため、周囲の遺構等から混入したものと考えられる。

SF10999・SD10982出土遺物（11～14）　全て土師器で、11は椀あるいは杯の口縁部、12は皿、13・14は甕あるいは鍋の口縁部である。いずれも小片のため、正確な時期は不明である。

SF11000・SD10967出土遺物（15～17）　15・16は土師器で、15は杯A、16は皿Aの口縁部で、小片のため正確な時期は不明だが、斎宮Ⅱ-３期以前のものであり、斎宮Ⅱ-４期の遺構より古くなる重複関係とも矛盾しない。17は管状土錘。

（2）平安時代中～後期前半の遺構出土遺物

SZ10951出土遺物（18～21）　18は土師器高杯の杯口縁部、19は須恵器盤の口縁部。19はSK10953出土の22と同一個体と考えられる。20・21は灰釉陶器の高台部、20は椀、21は皿で、斎宮Ⅱ-１期のものか。

SZ10951および下層遺構群の出土遺物は、概ね斎宮Ⅱ-４期頃にまとまりをみせる。SZ10951の19とSK10953の22が同一個体の可能性と考えられることから、各遺構群がほぼ時期差なく掘削されたとみられる。

SK10953出土遺物（22）　22は須恵器盤の口縁部。先述したSZ10951出土の19と形状等が類似し、同一個体と考えられる。斎宮Ⅱ-４期に相当する。

SK10955出土遺物（23）　23は土師器杯Aの口縁部で、斎宮Ⅱ-４期に相当する。

SK10956出土遺物（24）　24は灰釉陶器椀の高台部で、斎宮Ⅱ-４期に相当する。

SZ10958出土遺物（25～31）　25は土師器皿D、26はロクロ土師器の小型杯の柱状高台部で、斎宮Ⅲ-１～２期に相当する。27は土師器の鍋と考えられるもので口縁端部を外反により肥厚させている。28～31は灰釉陶器の高台部で、28は皿、29・30は椀、31は瓶類。

SZ10959出土遺物（32～46）　32～41は土師器で、33・35～37は杯A、32・34は椀Aで、斎宮Ⅱ-４期に相当する。38・39は甕、40は甑の底部。41は円筒形土器で、わずかに残る底部は平底である。42～44は須恵器で、42は瓶類の台部、43は甕の体部、44は平底甕の底部。45・46は灰釉陶器で、45は椀の高台部、46は広口瓶の頸部。

SZ10960出土遺物（47～51）　47・48は土師器で、47は杯A、48は高杯の脚部。斎宮Ⅱ-４期頃のものか。49はロクロ土師器椀の高台部、50は灰釉陶器椀、51は緑釉陶器椀の高台部。

SZ10961出土遺物（52・53）　52・53は土師器で、52は甕、53は鉢。正確な時期は不明である。

SZ10962出土遺物（54～57）　54～56は土師器で、54・55は杯A、56は椀で、斎宮Ⅱ-４～Ⅲ-１期に相当する。57は灰釉陶器椀の高台部。

SZ10963出土遺物（58・59）　58・59は土師器で、58は杯A、59は椀。59は内面に斜め方向の暗文が施される。斎宮Ⅱ-２～３期以前に相当するが、重複関係とは矛盾し、混入したものと考えられる。

SZ10964出土遺物（60）　60は須恵器瓶類の肩部。正確な時期は不明である。

SK10965出土遺物（61・62）　61・62は土師器杯Aで、斎宮Ⅱ-４～Ⅲ-１期に相当する。

SZ10966出土遺物（63）　63は土師器の高台部で、正確な時期は不明であるが、斎宮Ⅱ-４期以降のものとみられる。

SB10983出土遺物（64～74）　64～72は土師器で、64～68・71は杯A、69・70は甕あるいは鍋の口縁部、72は皿D。斎宮Ⅱ-４～Ⅲ-１期に相当する。73は須恵器甕の体部、74は管状土錘。

SB10988出土遺物（75）　75は土師器杯Aで、斎宮Ⅱ-４～Ⅲ-１期に相当する。

SK10968出土遺物（76）　76は土師器皿Aで、斎宮Ⅱ-４期に相当する。

（3）平安時代後期前半以降の遺構出土遺物

SF11001・SD9859出土遺物（77～104）　77～91は溝の下層から出土した遺物。77～79は土師器で、77・78は杯D、79は皿D。80～90はロクロ土師器で、80は杯A、81～85は小皿、86～90は柱状高台の小型杯。斎宮Ⅲ-２期に相当する。91は

須恵器甕の口縁部。

92～104は上層から出土した遺物。92～97は土師器で、92・93は杯D、94・95は皿D、96は甑の底部、97は甕の口縁部。98～100はロクロ土師器で、98は椀の高台部、99は小皿、100は小型杯の柱状高台部。101は陶器の瓶類の底部、102・103は灰釉陶器椀の高台部。いずれも斎宮Ⅲ-1期前後に相当する。104は管状土錘。

SF11001・SD10948出土遺物（105～108） 105～107は土師器で、105は杯D、106は椀C、107は鍋あるいは鉢。斎宮Ⅲ-1期～Ⅳ期のものとみられる。108は灰釉陶器椀の高台部。

SI10990出土遺物（109～134） 109・110は炉の焼土面からの出土で、109は陶器山皿の口縁部、110は土師器鍋の口縁部。斎宮Ⅲ-4期以降に相当する。

111～134は埋土から出土した遺物である。111～115・117は土師器で、111・112は杯D、113～115は皿D、117は鍋の口縁から肩部。116・119はロクロ土師器で、116は皿の底部、119は椀の高台部。概ね斎宮Ⅲ-3～4期に相当する。118は須恵器甕の体部、120～123は灰釉陶器椀の高台部、124・125は陶器山茶椀の高台部。127～129は緑釉陶器椀の口縁部、126は管状土錘。130～134は鉄製品で、130は刀子、131～133は釘、134は不明製品。

SB10989出土遺物（135・136） 135・136は土師器。135は杯あるいは椀で、内面に斜め方向の暗文がみられる。136は鍋の口縁部。ともに細片のため、正確な時期は不明である。

SA10946出土遺物（137） 137は土師器皿Dで、斎宮Ⅲ-3期に相当する。

SB10950出土遺物（138～140） 全て土師器で138・139は杯、140は甕か。138は斎宮Ⅲ-2期以降に相当する。

SB10970出土遺物（141～148） 141～146は土師器で、141は杯D、142～145は皿D、146は椀C。斎宮Ⅲ-3期に相当する。147はロクロ土師器小皿の底部、148は須恵器甕の体部。

SB10974出土遺物（149・150） 149は土師器杯Aで、斎宮Ⅱ-4期に相当する。150はロクロ土師器小型杯の柱状高台部で、斎宮Ⅲ-3期以降に相当する。遺構の時期としては後者であろうか。

SB10975出土遺物（151・152） 151はロクロ土師器椀の口縁部。152は灰釉陶器椀の口縁部か。斎宮Ⅲ期のものとみられる。

SB10978出土遺物（153～155） 153は土師器高杯の脚部、154は土師器甕の頸部、155は灰釉陶器椀か皿の高台部。斎宮Ⅱ-3期～Ⅲ期のものとみられる。

SB10980出土遺物（156～158） 156は土師器皿D。157は灰釉陶器小椀の口縁部、158はロクロ土師器皿の底部。斎宮Ⅲ-3～4期に相当する。

SB10984出土遺物（159～161） 159・160は土師器で、159は台付椀などの台部、160は甕あるいは鉢。161は灰釉陶器椀の口縁部。斎宮Ⅲ期以降に相当する。

SB10985出土遺物（162～175） 162～167・171は土師器で、162・163は杯D、164・165は皿D、166・167は台付椀の台部、171は鍋の口縁部。168～170はロクロ土師器で、168は椀、169は台付杯などの台部、170は杯の底部。斎宮Ⅲ-1～4期の土器が混在する。172は灰釉陶器椀の底部、173～175は管状土錘。

SB10993出土遺物（176～178） 176は管状土錘。177は土師器皿D、178は灰釉陶器皿の台部。斎宮Ⅲ期のものとみられる。

SB10994出土遺物（179） 179は灰釉陶器椀の口縁部。斎宮Ⅲ期以降に相当する。

SA10997出土遺物（180） 180は灰釉陶器小椀の口縁部。斎宮Ⅲ期以降に相当する。

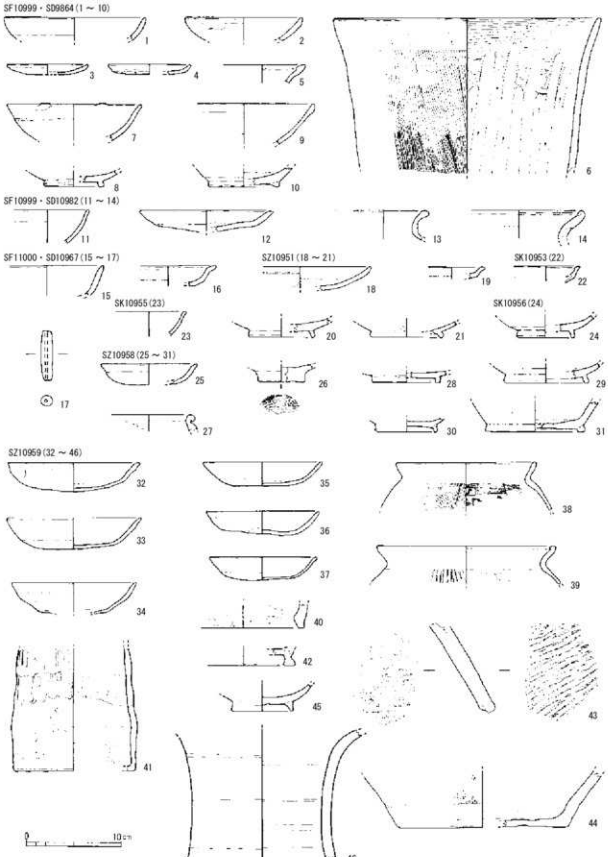
SB10998出土遺物（181～184） 181～183は土師器で、181・182は杯D、183は皿D。斎宮Ⅲ-2～4期に相当する。184は胎土の粗い土製品で、器壁に凹凸や条痕がみられる。土壁の可能性がある。

SK10969出土遺物（185～194） 185～187・190・191は土師器で、185・186は杯D、187は皿D、190・191は甕。188・189はロクロ土師器小皿の底部。斎宮Ⅲ-2～3期に相当する。192は瓦器椀の底部、193は灰釉陶器椀の底部、194は鉄製釘の胴部。

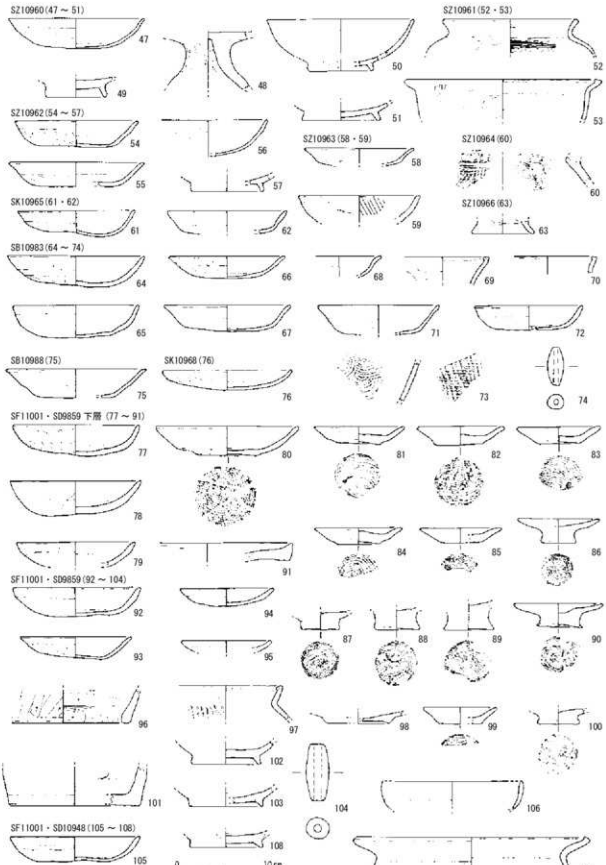
SK10971出土遺物（195～198） 195～197は土師器で、195は椀C、196・197は杯B。斎宮Ⅲ-2～3期に位置づけられる。198は鉄製刀子の刀身部か。

SK10972出土遺物（199～202） 199は土師器皿D、200はロクロ土師器小皿。斎宮Ⅲ-2期以降のものとみられる。201・202は灰釉陶器で、201は椀、202は小瓶。

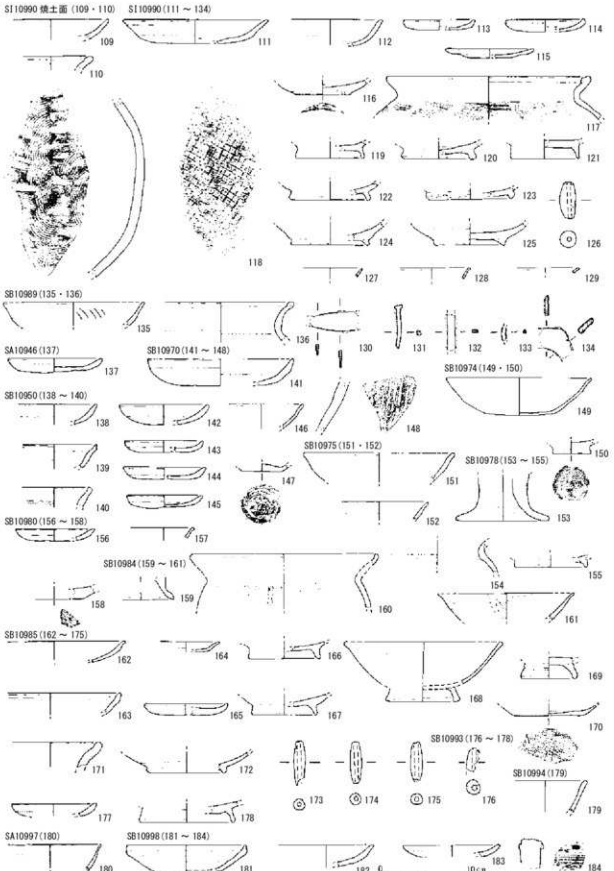
SK10973出土遺物（203～205） 203はロクロ土師器小皿の底部、204は瓦器椀の口縁部。斎宮Ⅲ期のものとみられる。205は須恵器の壺。



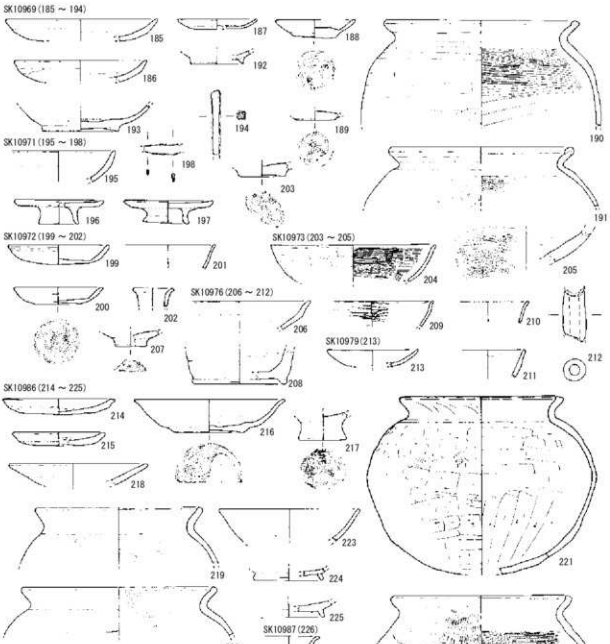
第Ⅱ－5図　第188次調査　出土遺物実測図1(1/4)



第Ⅱ－６図　第 188 次調査　出土遺物実測図２(1/4)



第Ⅱ－７図　第 188 次調査　出土遺物実測図３ (1/4)



第Ⅱ－８図　第188次調査　出土遺物実測図４(1/4)

SK10976出土遺物（206～212）　206は土師器杯D、207はロクロ土師器小型杯の底部。斎宮Ⅲ-1～2期に相当する。

208・210・211は灰釉陶器で、208は瓶類の底部、210・211は椀の口縁部。209は瓦器椀の口縁部、212は管状土錘。

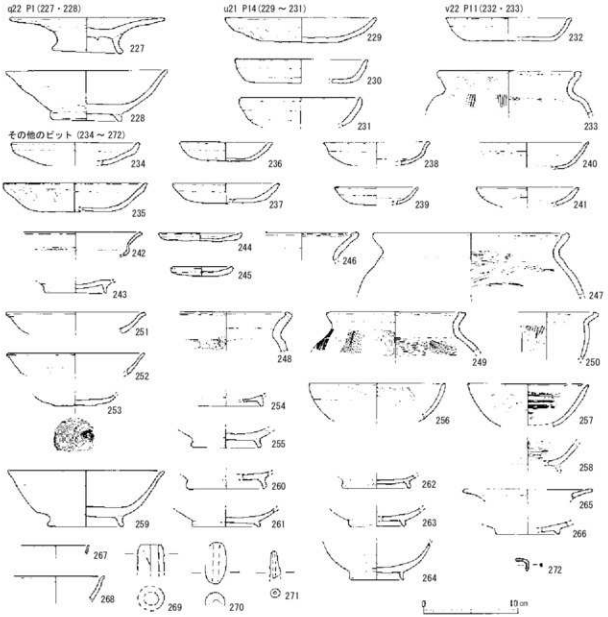
SK10979出土遺物（213）　213は白磁皿で、斎宮Ⅲ期のものとみられる。

SK10986出土遺物（214～225）　214・215・219～222は土師器で、214・215は皿D、219～222は甕。216～218はロクロ土師器で、216は杯、217は小型杯、218は台付杯。これらは、斎宮Ⅲ-2～3期に相当する。223～225は灰釉陶器椀。

SK10987出土遺物（226）　226は灰釉陶器椀。斎宮Ⅲ-2期以降のものである。

q22P1出土遺物（227・228）　227はロクロ土師器台付皿、228は陶器山茶椀。これらは、斎宮Ⅲ-2期に相当する。

u21P14出土遺物（229～231）　229～231は土師器で、229は杯D、230は皿D、231は椀C。これらは、斎宮Ⅲ-1期のもの



第Ⅱ－9図　第188次調査　出土遺物実測図5(1/4)

とみられる。

v22P11出土遺物(232・233)　232は土師器皿D、233は土師器甕。これらは、斎宮Ⅲ-1期のものとみられる。

その他のピット出土遺物(234～272)　234～242・244～250・257は土師器で、235・240・242は杯、234・236～239・241・244・245は皿、246～249は甕および鍋、250は鉢。257は椀で、器形や調整技法は黒色土器と類似するが、内外面共に黒色化していない。

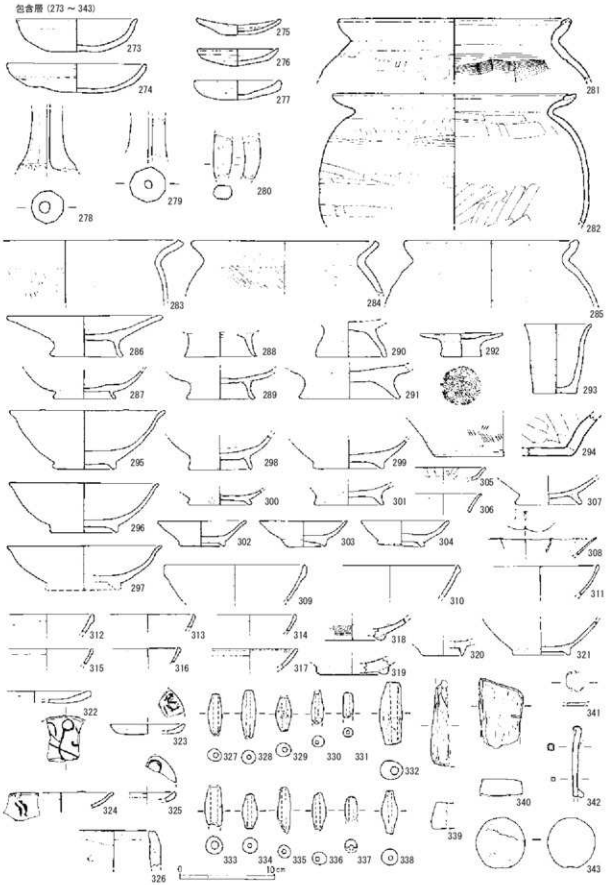
243・251～255はロクロ土師器で、243・254・255は椀、251～253は杯。256・258は黒色土器椀で、内面にヘラミガキがみられる。

259～266は灰釉陶器で、259～264は椀、265は段皿、266は皿。

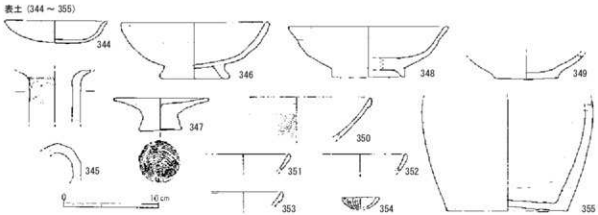
267は緑釉陶器小椀。268は白磁椀。

269～271は管状土錘、272は不明鉄製品。

包含層出土遺物(273～343)　273～279・281～285は土師器で、273は椀C、274は杯D、275～277は皿D、278・279は高杯の脚部、281・282・284・285は甕および鍋、283は鉢。



第Ⅱ－10図　第188次調査　出土遺物実測図6（1/4）



第Ⅱ－11図　第188次調査　出土遺物実測図7（1/4）

280は土製品の脚部で、土馬の可能性がある。

286～292はロクロ土師器で、287は椀、286・288～291は台付杯、292は小型杯。

293・294は須恵器で、293は壺あるいはコップ形を呈するとみられる。294は平底甕の底部。298・300は灰釉陶器の椀。

295～297・299・301～304は陶器で、295～297・299・301は山茶椀、302～304は山皿。

305は瓦器皿、306は緑釉陶器椀、307は黒色土器椀の底部。

308～317・341は白磁である。308は輪花椀で、口縁端部を波状にし、稜線により輪花を表現している。309～316は椀、317は皿。341は、加工円盤である。

318～321は青磁で椀等の底部。

322～325は墨書土器で322・323・325はいずれも土師器皿に絵画の様な墨書がみられる。324は灰釉陶器皿で、外面に2列の＞の墨書がみられる。

326は志摩式製塩土器。327～338・343は土製品で、327～338は管状土錘、343は土玉。土玉は1か所を面取りしており、自立が可能である。

339・340は砥石の破片で、339は砂岩製、340は泥岩製。342は鉄製品の釘。

表土出土遺物（344～355）　344～346は土師器で、344は皿D、345は高杯の脚部、346は台付椀。347はロクロ土師器の小型杯、348は灰釉陶器の椀、349は陶器の山皿、355は瓶類の底部。350～353は白磁、354は青白磁の紅皿。

5　まとめ

この調査で、古代伊勢道から南に派生する南北道路の確認など、広頭地区の実態解明が進んだ。特に平安時代前期以前（SF11000）、平安時代後期以降（SF11001）の二時期に南北道路が敷設されたことは、方格街区に隣接する地区の性格と関連する可能性がある。

（1）広頭地区の古代伊勢道南側派生道路

古代伊勢道から南に派生する道路には、古里地区から中垣内地区へと伸びるSF8945（第30次・141次等）が既に知られている。しかしSF8945は、中垣内地区の方形区画（飛鳥・奈良時代の斎宮中枢域）の機能が、史跡東部の鍛冶山西区画（方格街区）に移行する奈良時代後期には衰退したと考えられる。

一方で今回確認したSF11000は、出土遺物は希薄であるものの、重複関係も含め平安時代前期にまで遡り得る。古代伊勢道とSF11000の交差点付近では、SF11000が埋没してから平安時代後期にSF11001が掘削されるまでの間に、多数の落ち込みや土坑、ピットが路面・側溝部を問わず掘削されていることが、第154次調査で明らかになっている。

こうした様相は、方格街区の西加座北区画の東側南北道路東側溝と北辺道路南側溝の交差点（第80次調査）等と酷似しており、方画街区の区画道路と同様に継続的な道路利用、廃絶から再整備がこの道路でも行われた可能性を示している。

方格街区から約100ｍ西に離れた地点に南北道路が設置された理由としては、近鉄山田線の南で確認された奈良時代後期の柱間約3ｍの大型柱列SA10821（第185-11次）に注目したい。SA10821は方格街区から約100ｍ西に位置し、古代伊勢道からは約400ｍ離れている。両者間の調査が少ない現状で直接的に関連付けることは難しいが、方格街区が造成される前後の時期に、大型柱列からなる何らかの施設と古代伊勢道を繋ぐ道路が敷設された可能性を考えておきたい。

（2）平安時代後期～末期の広頭地区

Ⅲ-1期以降にはSF11001が敷設されるが、広頭地区では平安時代後期～末期の成果が目立つ。近鉄山田線の南で四脚門SB700と付随する溝群（第15次調査）が、さらに方格街区の西側隣接地で規則的に建ち並んだ建物群とそれらを区画する溝（第59次調査）が確認されている。特に第59次調査の溝からは、二次被熱がみられる緑釉陶器（大型器種を含む）が多数出土しており、衰退の進む方格街区の公的施設の一部が広頭地区に移された可能性もあるSF11001には、こうした平安時代後期～末期の斎宮の諸施設と古代伊勢道を繋ぐ役割があり、一度は廃絶したSF11000と同じ場所に再度敷設されたと考えられる。

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録 番号
1	土師器	椀D	SF10999西側溝 SD9864	口径 14.6 残高 2.5	外面：ヨコナデ・ヘラケズリ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙 10YR6/4	口縁部 2/12		003-06
2	土師器	椀D	SF10999西側溝 SD9864	口径 12.1 残高 2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙 10YR7/3	口縁部 2/12		004-02
3	土師器	皿D	SF10999西側溝 SD9864	口径 8.4 残高 1.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙 10YR7/4	口縁部 8/12		004-03
4	土師器	皿D	SF10999西側溝 SD9864	口径 8.5 残高 1.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	灰黄褐 10YR6/2	口縁部 2/12		004-01
5	土師器	甕or鍋	SF10999西側溝 SD9864	口径 残高 2.0	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙 10YR7/3	口縁部 1/12		003-05
6	土師器	甕	SF10999西側溝 SD9864	口径 27.8 残高 16.5	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヘラケズリ・タテナデ	密	良	にぶい黄橙 10YR7/4	口縁部 1/12		003-01
7	灰釉陶器	椀	SF10999西側溝 SD9864	口径 残高 13.8 3.9	外面：ロクロナデ・輪花文 内面：ロクロナデ	密	良	釉：黄色818 素地：灰(2.5Y7/1	口縁部 2/12		003-02
8	灰釉陶器	椀	SF10999西側溝 SD9864	底径 残高 5.8 1.8	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	灰黄2.5Y7/2	底部 3/12		003-03
9	白磁	椀	SF10999西側溝 SD9864	底径 残高 4.4	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：水緑B93 素地：灰(5B7/1	口縁部 1/12未満		041-03
10	陶器	山茶椀	SF10999西側溝 SD9864	底径 6.9 残高 2.2	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付・モミガラ圧痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：黄色818 素地：灰(2.5Y2/1	底部 2/12		003-04
11	土師器	椀or杯	SF10999東側溝 SD10982	残高 3.6	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄2.5Y8/3	口縁部 1/12未満		019-09
12	土師器	皿	SF10999東側溝 SD10982	口径 残高 13.9 2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙7.5YR6/4	口縁部 1/12		019-04
13	土師器	甕or鍋	SF10999東側溝 SD10982	残高 3.2	外面：タテハケ（摩滅）・ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 1/12		019-05
14	土師器	甕or鍋	SF10999東側溝 SD10982	残高 3.1	外面：ヨコナデ・煤付着 内面：ヨコナデ	密	良	暗灰黄2.5Y5/2	口縁部 1/12未満		019-06
15	土師器	椀A	SF11000東側溝 SD10967	残高 2.7	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部 1/12未満		004-06
16	土師器	皿A	SF11000東側溝 SD10967	残高 2.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	橙7.5YR7/6	口縁部 1/12未満		004-04
17	土製品	土錘	SF11000東側溝 SD10967	長さ 幅 5.3 1.2	重さ7.35g、孔径0.25cm	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	ほぼ完形		004-05
18	土師器	高杯	SZ10951	残高 2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・ハケ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	橙7.5YR7/6	口縁部 1/12未満		014-07
19	須恵器	盤	SZ10951	残高 1.2	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	口縁部 1/12未満	22と同一か	014-04
20	灰釉陶器	椀	SZ10951	底径 6.5 残高 2.1	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瓶989 素地：灰(2.5Y7/1	底部 2/12		014-05
21	灰釉陶器	皿	SZ10951	底径 7.2 残高 1.7	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：橄榄815 素地：灰(N2.5Y6/1	底部 1/12		014-06
22	須恵器	盤	SK10953	残高 1.6	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	口縁部 1/12未満	19と同一か	015-08
23	土師器	椀A	SK10955	残高 2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部 2/12		015-06
24	灰釉陶器	椀	SK10956	底径 5.6 残高 2.5	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瓶989 素地：灰(2.5Y7/1	底部 3/12		015-05
25	土師器	皿D	SZ10958	口径 残高 9.8 2.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	灰黄褐10YR5/2	口縁部 1/12未満		020-04
26	ロクロ 土師器	小型杯	SZ10958	底径 4.4 残高 1.9	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	橙7.5YR7/6	底部 4/12		020-05

第Ⅱ－3表　第188次調査　遺物観察表1

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
27	土師器	鍋？	SZ10958	残高	1.8	外面：ヨコハケ・ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	灰黄褐10YR5/2	口縁部 1/12		020-03
28	灰釉陶器	皿	SZ10958	底径 残高	7.0 1.2	外面：ロクロケズリ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	底部 2/12		020-04
29	灰釉陶器	椀	SZ10958	底径 残高	6.4 2.2	外面：ロクロケズリ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ・漆付着	密	良	釉：しゅろ色7.5 素地：灰黄2.5Y7/2	底部 1/12		019-08
30	灰釉陶器	椀	SZ10958	底径 残高	8.9 1.3	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ・墨痕	密	良	釉：橄欖8.8/1 素地：灰白2.5Y7/1	底部 7/12		019-07
31	灰釉陶器	瓶類	SZ10958	底径 残高	9.1 3.2	外面：ロクロケズリ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：鶯色8.1R 素地：灰黄2.5Y6/2	底部 4/12		020-01
32	土師器	椀A	SZ10959 No. 1	口径 高さ	13.7 3.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 8/12		012-05
33	土師器	椀A	SZ10959	口径 高さ	13.9 3.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙10YR7/4	口縁部 1/12未満	注記完形	012-04
34	土師器	椀A	SZ10959	口径 高さ	13.0 3.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ・黒色化	密	良	灰黄2.5Y8/3	口縁部 2/12		011-04
35	土師器	椀A	SZ10959	口径 高さ	12.4 2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙10YR7/4	口縁部 11/12		012-03
36	土師器	椀A	SZ10959	口径 高さ	11.8 2.6	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙10YR7/4	完形		011-01
37	土師器	椀A	SZ10959	口径 高さ	11.1 2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/4	1/12未満	注記完形	012-02
38	土師器	甕	SZ10959 下層	口径 残高	14.5 5.2	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい橙10YR7/4	口縁部 2/12		011-06
39	土師器	甕	SZ10959	口径 残高	18.6 4.0	外面：タテハケ・ヨコナデ・煤付着 内面：ヨコハケ・ヨコナデ・煤付着	密	良	灰黄褐10YR5/2	口縁部 4/12		011-03
40	土師器	甕	SZ10959	残高	2.5	外面：オサエ・ナデ 内面：ヘラケズリ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	細片		013-04
41	土師器	円筒形土器	SZ10959	底径 残高	11.8 13.0	外面：タテハケ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	底部 1/12		011-05
42	須恵器	瓶類	SZ10959	残高	1.9	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ・墨痕	密	良	明灰黄2.5Y6/2	底部 1/12		011-02
43	須恵器	甕	SZ10959	残高	9.1	外面：平行タタキ 内面：当て具痕、ナデ	密	良	灰7.5Y6/1	細片	大甕	012-01
44	須恵器	甕	SZ10959	底径 残高	17.4 6.0	外面：平行タタキ・ヘラケズリ・ヨコナデ・ナデ 内面：ナデ	密	良	黄灰2.5Y5/1	底部 1/12		013-02
45	灰釉陶器	椀	SZ10959	底径 残高	6.2 2.8	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ・重ね焼き痕	密	良	灰黄2.5Y7/2	底部 9/12	外面墨痕	013-03
46	灰釉陶器	広口瓶	SZ10959	残高	13.9	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：威光36/90 素地：灰黄2.5Y7/2	頸部 16/12		013-01
47	土師器	椀A	SZ10960	口径 高さ	14.1 3.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 5/12		014-02
48	土師器	高杯	SZ10960	残高	6.1	外面：ナデ 内面：ナデ	密	良	橙7.5YR7/6	脚部		014-10
49	ロクロ土師器	椀	SZ10960	底径 残高	6.0 2.1	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	底部 8/12		014-01
50	灰釉陶器	椀	SZ10960	底径 推定高	6.5 5.5	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：灰白N6 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部・底部1/12		014-03
51	緑釉陶器	椀	SZ10960	底径 残高	7.9 1.9	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：香蘭緑S33 素地：灰N2.5N6/1	底部 2/12		041-01
52	土師器	甕	SZ10961	口径 残高	13.9 3.7	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	橙10YR6/6	口縁部 1/12		015-04
53	土師器	鉢	SZ10961	口径 残高	19.7 4.4	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：板ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 1/12		015-03
54	土師器	椀A	SZ10962	口径 高さ	12.8 2.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙7.5YR7/4	口縁部 7/12		016-02
55	土師器	椀A	SZ10962	口径 高さ	13.8 2.6	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 3/12		016-03
56	土師器	椀A	SZ10962	残高	5.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 1/12未満		016-01
57	灰釉陶器	椀	SZ10962	底径 残高	7.2 1.4	外面：ロクロケズリ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：ねこやな色Z5 素地：灰黄N10YR6/2	底部 1/12		016-04
58	土師器	杯	SZ10963	口径 残高	11.3 1.9	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部 2/12		013-05
59	土師器	椀	SZ10963	口径 残高	12.4 2.8	外面：ヨコハケ・ヨコナデ 内面：ヨコナデ・刷毛文	密	良	橙7.5YR6/6	口縁部 1/12		013-06
60	須恵器	瓶類	SZ10964	残高	3.0	外面：タタキ・ヨコナデ 内面：当て具痕・ヨコナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	胴部 細片		009-05
61	土師器	椀A	SK10965 No. 1	口径 高さ	12.2 2.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	灰白10YR8/2	1/12未満	注記完形	016-01
62	土師器	椀A	SK10965	口径 残高	12.4 2.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 1/12		016-02
63	土師器	器種不明	SZ10966	底径 残高	6.2 1.4	外面：ロクロケズリ 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	底部 2/12		015-02
64	土師器	椀A	SB10983 i22P10	口径 高さ	14.2 3.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 3/12		029-01
65	土師器	椀A	SB10983 i22P10	口径 高さ	13.0 3.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/3	口縁部 4/12		029-02
66	土師器	椀A	SB10983 i22P10	口径 高さ	12.0 2.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 2/12		029-05
67	土師器	椀A	SB10983 i22P10	口径 高さ	13.1 2.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部 7/12		029-04
68	土師器	椀A	SB10983 i22P10	残高	2.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 1/12未満		029-08
69	土師器	甕or鍋	SB10983 v23P12	残高	2.8	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 1/12未満		030-01
70	土師器	甕or鍋	SB10983 u24P10	残高	1.6	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR5/4	口縁部 1/12未満		030-02

第Ⅱ－４表　第188次調査　遺物観察表２

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
71	土師器	杯A	SB10983 i22P10	口径 高さ	12.7 3.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙5YR7/4	口縁部 3/12		029-03
72	土師器	皿D	SB10983 i22P10	口径 高さ	11.2 2.6	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 3/12		029-06
73	須恵器	甕	SB10983 s24P10	残高	4.3	外面：格子状タタキ 内面：同心円文当て具痕	密	良	黄灰2.5Y6/1	破片		029-07
74	土製品	土錘	SB10983 s23P16	長さ 幅	4.1 1.7	重さ8.93g、孔径0.6cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	完形		030-03
75	土師器	杯A	SB10988 s23P29	口径 高さ	14.3 3.0	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部 3/12		030-07
76	土師器	皿A	SB10968 No.1	口径 高さ	13.3 2.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部 10/12		002-06
77	土師器	杯D	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ	13.1 3.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	1/12正定形		007-03
78	土師器	杯D	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ	13.6 3.7	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 6/12		007-04
79	土師器	皿D	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 残高	12.3 2.6	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部 3/12		008-01
80	ロクロ土師器	杯A	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	14.6 3.1 6.1	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部 6/12		007-05
81	ロクロ土師器	小皿	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	9.3 1.9 4.6	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	淡黄2.5Y8/3	1/12正定形		005-06
82	ロクロ土師器	小皿	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	8.8 2.0 5.2	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 7/12		007-06
83	ロクロ土師器	小皿	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	8.4 1.8 4.4	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 2/12		008-06
84	ロクロ土師器	小皿	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	8.9 1.8 4.6	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙7.5YR6/4	口縁部 3/12		008-05
85	ロクロ土師器	小皿	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	8.3 1.6 4.6	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 3/12		009-03
86	ロクロ土師器	小型杯	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	8.2 2.7 3.9	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部1/12 底部11/12		009-04
87	ロクロ土師器	小型杯	SF11001東側溝 SD8859下層	底径 残高	3.6 1.9	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	底部 7/12		009-01
88	ロクロ土師器	小型杯	SF11001東側溝 SD8859下層	底径 残高	4.3 2.2	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	底部 1/12正定形		009-07
89	ロクロ土師器	小型杯	SF11001東側溝 SD8859下層	底径 残高	4.9 3.0	外面：ヨコナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	底部 5/12		009-02
90	ロクロ土師器	小型杯	SF11001東側溝 SD8859下層	口径 高さ 底径	9.2 2.6 4.6	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部3/12 底部6/12		009-04
91	須恵器	甕	SF11001東側溝 SD8859下層	残高	2.0	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	口縁部 1/12未満		008-02
92	土師器	杯D	SF11001東側溝 SD8859	口径 器高	13.3 3.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部 9/12		006-05
93	土師器	杯D	SF11001東側溝 SD8859	口径 器高	11.6 2.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 3/12		006-06
94	土師器	皿D	SF11001東側溝 SD8859	口径 器高	9.7 1.9	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/3	1/12正定形		006-04
95	土師器	皿D	SF11001東側溝 SD8859	口径 残高	9.1 1.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/4	口縁部 1/12		006-07
96	土師器	甑	SF11001東側溝 SD8859上層	残高	3.7	外面：ヘラケズリ・ナデ 内面：ヘラケズリ	密	良	浅黄橙7.5YR8/3	底部 1/12未満		006-03
97	土師器	甕	SF11001東側溝 SD8859	残高	3.6	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 1/12未満		005-04
98	ロクロ土師器	椀	SF11001東側溝 SD8859	底径 残高	6.4 1.2	外面：ロクロケズリ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙7.5YR8/3	底部 5/12		007-01
99	ロクロ土師器	小皿	SF11001東側溝 SD8859上層	口径 高さ 底径	7.5 1.8 4.3	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	灰黄褐10YR5/2	口縁部1/12 未満 底部5/12		006-02
100	ロクロ土師器	小型杯	SF11001東側溝 SD8859上層	底径 残高	3.9 1.7	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	底部 11/12		006-01
101	陶器	瓶類	SF11001東側溝 SD8859	底径 残高	11.4 4.2	外面：ロクロナデ・底部未調整 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	底部 1/12		007-02
102	灰釉陶器	椀	SF11001東側溝 SD8859	底径 残高	6.9 3.2	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：若色8/1 素地：灰白2.5Y7/1	底部 3/12		005-03
103	灰釉陶器	椀	SF11001東側溝 SD8859	底径 残高	7.5 2.1	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：オリーブ色5/4 素地：灰白2.5Y7/1	底部 3/12		008-03
104	土製品	土錘	SF11001東側溝 SD8859	長さ 幅	6.0 2.5	重さ28.21g、孔径0.75cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	1/12正定形		005-05
105	土師器	杯D	SF11001西側溝 SD10948	口径 器高	13.6 2.7	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 5/12		014-08
106	土師器	椀C	SF11001西側溝 SD10948	口径 残高	14.5 3.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・煤付着 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 1/12		015-02
107	土師器	鍋or鉢	SF11001西側溝 SD10948	口径 残高	24.0 3.8	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部 1/12		015-01
108	灰釉陶器	椀	SF11001西側溝 SD10948	底径 残高	7.3 1.7	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瑠璃9 素地：にぶい黄橙 10YR6/3	底部 1/12未満		014-09
109	陶器	山皿	SI10990埋土面	残高	1.6	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y6/1	口縁部 1/12未満		023-02
110	土師器	鍋	SI10990埋土面	残高	1.4	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 1/12未満		023-03

第Ⅱ－５表　第188次調査　遺物観察表３

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
111	土師器	杯D	SI10990	口径	15.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部		023-01
				器高	2.5	内面：ヨコナデ・ナデ				10/12		
112	土師器	杯D	SI10990	残高	2.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部		021-09
						内面：ヨコナデ・ナデ				1/12未満		
113	土師器	皿D	SI10990	口径	7.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部		021-08
				器高	1.1	内面：ヨコナデ・ナデ				5/12		
114	土師器	皿D	SI10990	口径	8.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	灰黄褐10YR6/2	口縁部		021-06
				器高	1.4	内面：ヨコナデ・ナデ				3/12		
115	土師器	皿D	SI10990	口径	9.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	灰黄褐10YR6/2	口縁部		022-01
				器高	1.0	内面：ヨコナデ・ナデ				2/12		
116	ロクロ土師器	甕	SI10990	底径	5.6	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕	密	良	浅黄橙7.5YR8/4	底部		021-05
				残高	1.6	内面：ロクロナデ				3/12		
117	土師器	鍋	SI10990	口径	21.2	外面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	口縁部		021-07
				器高	4.6	内面：ヨコハケ・ヨコナデ・煤付着				2/12		
118	須恵器	甕	SI10990	残高	16.7	外面：格子状タタキ・オサエ・ナデ	密	良	白黒軸：孔径945	体部片		022-02
						内面：同心円文当て具痕・オサエ・ナデ			素地：暗灰黄2.5Y5/2			
119	ロクロ土師器	椀	SI10990	底径	7.0	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付	密	良	にぶい橙7.5YR6/4	底部		021-04
				残高	1.7	内面：ロクロナデ				4/12		
120	灰釉陶器	椀	SI10990	底径	7.2	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付	密	良	釉：青白橄189	底部		020-06
				残高	1.9	内面：ロクロナデ			素地：灰白2.5Y8/2	3/12		
121	灰釉陶器	椀	SI10990	底径	7.0	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付	密	良	灰白2.5Y7/1	底部		021-01
				残高	2.0	内面：ロクロナデ				1/12		
122	灰釉陶器	椀	SI10990	底径	8.0	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付	密	良	灰黄2.5Y7/2	底部		021-02
				残高	1.9	内面：ロクロナデ				2/12		
123	灰釉陶器	椀？	SI10990	底径	8.6	外面：高台貼付	密	良	釉：代緑色261	底部		021-03
				残高	1.2	内面：ロクロナデ・見込み面朱付着？			素地：灰黄2.5Y6/2	1/12		
124	陶器	山茶椀	SI10990	底径	7.8	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付	密	良	灰黄2.5Y6/1	底部		020-08
				残高	2.5	内面：ロクロナデ				1/12		
125	陶器	山茶椀	SI10990	底径	7.2	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕・高台貼付	密	良	釉：青白橄189	底部		020-07
				残高	2.3	内面：ロクロナデ			素地：灰白2.5Y7/1	2/12		
126	土製品	土錘	SI10990	長さ	3.9	重さ11.71g，孔径0.4cm	密	良	暗灰黄2.5Y5/2	完形		022-03
				幅	1.7							
127	緑釉陶器	椀？	SI10990	残高	0.6	外面：ロクロナデ	密	良	釉：威光茶990	口縁部		042-07
						内面：ロクロナデ			素地：灰黄褐10YR5/2	1/12未満		
128	緑釉陶器	椀？	SI10990	残高	1.2	外面：ロクロナデ	密	良	釉：山吹色822	口縁部		042-05
						内面：ロクロナデ			素地：灰黄褐10YR5/2	1/12未満		
129	緑釉陶器	椀？	SI10990	残高	0.6	外面：ロクロナデ	密	良	釉：威光茶990	口縁部		042-06
						内面：ロクロナデ			素地：灰黄褐10YR5/2	1/12未満		
130	鉄製品	刀子？	SI10990	残長	5.1	厚さ0.2cm	—	—	—	刀身部		043-07
				幅	2.0					9/12		
131	鉄製品	釘	SI10990	残長	4.6	厚さ0.4cm	—	—	—	先端部	巻頭？	043-05
				幅	0.8					欠損		
132	鉄製品	釘？	SI10990	残長	3.8	厚さ0.25cm	—	—	—	胴部のみ		043-04
				幅	0.8							
133	鉄製品	釘？	SI10990	残長	1.5	厚さ0.35cm	—	—	—	胴部のみ		043-06
				幅	0.45							
134	鉄製品	不明品	SI10990	残長	2.3	厚さ0.5cm	—	—	—	不明		043-08
				幅								
135	土師器	杯or椀	SB10989	口径	14.6	外面：ヨコナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部		031-01
			x22P9	残高	2.5	内面：ヨコナデ・暗文				1/12		
136	土師器	鍋	SB10989	残高	4.3	外面：ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR6/4	口縁部		030-08
			x23P11			内面：ヨコナデ				1/12未満		
137	土師器	皿D	SA10946	口径	9.7	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/4	口縁部		023-04
			x19P1 No. 1	残高	1.6	内面：ヨコナデ・ナデ				10/12		
138	土師器	杯	SB10950	残高	2.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部		023-05
			x20P1			内面：ヨコナデ				1/12未満		
139	土師器	杯A	SB10950	残高	2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・沈線	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部		023-06
			x21P1			内面：ヨコナデ				1/12未満		
140	土師器	甕？	SB10950	残高	2.1	外面：タタハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部		023-07
			x20P2			内面：ヨコナデ				1/12未満		
141	土師器	杯D	SB10920	口径	15.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部		024-04
			x20P9	残高	2.9	内面：ヨコナデ				2/12		
142	土師器	皿D	SB10970	口径	9.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部		032-01
			x21P2	残高	2.4	内面：ヨコナデ				2/12		
143	土師器	皿D	SB10970	口径	8.0	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	灰白2.5Y8/2	口縁部		024-06
			x20P2	残高	1.5	内面：ヨコナデ				2/12		
144	土師器	皿D	SB10920	口径	8.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部		024-03
			x20P2	残高	1.5	内面：ヨコナデ・ナデ				4/12		
145	土師器	皿D	SB10920	口径	7.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	浅黄2.5YR6/3	口縁部		024-02
			x22P6	残高	1.4	内面：ヨコナデ・ナデ				1/12未満		
146	土師器	椀C	SB10970	残高	2.2	外面：ヨコナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部		024-05
			x21P16			内面：ヨコナデ・黒色化				1/12未満		
147	ロクロ土師器	小皿	SB10970	底径	4.2	外面：ロクロケズリ・糸切痕	密	良	にぶい黄橙10YR7/2	底部		024-07
			x21P16	残高	0.9	内面：ロクロナデ				1/12未満		
148	須恵器	甕	SB10970	残高	5.4	外面：タタキ	密	良	黄灰2.5Y5/2	胴部		024-08
			x20P2			内面：オサエ・ナデ				破片		
149	土師器	杯A	SB10974	口径	15.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・油煙付着	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部		025-02
			x21P2 No. 1	残高	4.0	内面：ヨコナデ・ナデ・油煙付着				1/12未満		
150	ロクロ土師器	小型杯	SB10974	底径	3.4	外面：ロクロナデ・糸切痕	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	底部		025-03
			x21P15	残高	1.4	内面：ロクロナデ				1/12未満		
151	ロクロ土師器	椀	SB10975	口径	15.6	外面：ロクロナデ	密	良	にぶい橙10YR6/4	口縁部		025-04
			x21P8	残高	3.1	内面：ロクロナデ				1/12		
152	灰釉陶器	椀？	SB10975	残高	2.0	外面：ロクロナデ	密	良	釉：抹茶色838	口縁部		025-05
			x21P12			内面：ロクロナデ				1/12未満		
153	土師器	高杯	SB10978	残高	6.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ	密	良	橙7.5YR7/6	底部		025-07
			v20P4		5.1	内面：ヨコナデ・ナデ				1/12		
154	土師器	甕	SB10978	残高	3.0	外面：タタハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	胴部		025-06
			x22P10			内面：ヨコナデ				破片		

第Ⅱ－6表　第188次調査　遺物観察表4

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
155	灰釉陶器	輪or鉢	SB10978 v22P8	底径 残高	7.2 1.3	外面：ロクロナデ・貼付高台 内面：ロクロナデ・重ね焼き痕	密	良	釉：抹茶色KS8 素地：灰(2.5Y7/1	底部 1/12未満		026-01
156	土師器	皿D	SB10980 v21P5	口径 器高	8.2 1.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	口縁部 1/12		026-03
157	灰釉陶器	小椀	SB10980 v21P5	残高	1.1	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：黄褐色KS5	口縁部 1/12未満		026-02
158	ロクロ 土師器	皿	SB10980 v21P1	残高	1.4	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	黄(N2.5Y5/1	底部1/12		026-04
159	土師器	台付 椀?	SB10984 u23P2	残高	2.4	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	底部 1/12未満		030-05
160	土師器	甕or鉢	SB10984 u23P1	口径 残高	19.6 5.8	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ハケ・ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR6/3	口縁部 1/12		030-04
161	灰釉陶器	椀	SB10984 u23P2	口径 残高	14.2 2.9	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：香色837 素地：灰(2.5Y7/1	口縁部 1/12		030-06
162	土師器	杯D	SB10985 u22P3	残高	2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR6/4	口縁部 1/12未満		027-03
163	土師器	杯D	SB10985 u22P4	残高	2.2	外面：ヨコナデ・沈線 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	口縁部 1/12未満		027-07
164	土師器	皿D	SB10985 u23P3	口径 器高	1.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 1/12未満		028-01
165	土師器	皿D	SB10985 u22P4	口径 器高	8.6 1.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	橙10YR7/6	口縁部 3/12		027-04
166	土師器	台付椀	SB10985 v22P13	底径 残高	7.4 1.9	外面：ヨコナデ・高台貼付 内面：ナデ	密	良	橙10YR7/6	底部 1/12未満		027-01
167	土師器	台付椀	SB10985 v22P15	底径 残高	6.7 2.2	外面：ヨコナデ・高台貼付 内面：ナデ	密	良	灰白10YR8/2	底部 2/12		027-02
168	ロクロ 土師器	椀	SB10985 u23P4	口径 器高 底径	16.2 6.5 5.6	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 1/12未満 底部3/12		027-05 027-08
169	ロクロ 土師器	台付杯? 台部	SB10985 u23P5	底径 残高	5.6 2.3	外面：ヨコナデ・高台貼付 内面：ヨコナデ	密	良	灰白10YR8/2	底部 1/12		028-03
170	ロクロ 土師器	杯	SB10985 u22P4	底径 残高	6.7 1.2	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	底部 4/12		028-02
171	土師器	鍋	SB10985 v22P13	残高	2.6	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR6/3	口縁部 1/12未満		027-06
172	灰釉陶器	椀	SB10985 u22P13	底径 残高	7.8 2.3	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：抹茶色KS8 素地：灰白10YR7/1	底部 1/12		026-08
173	土製品	土錘	SB10985 u22P4	長さ 幅	4.7 1.2	重さ3.63g、孔径0.4cm	密	良	橙7.5YR7/6	1/2正定形		028-05
174	土製品	土錘	SB10985 u22P4	長さ 幅	4.4 1.2	重さ4.46g、孔径0.5cm	密	良	明赤褐5YR5/6	完形		028-04
175	土製品	土錘	SB10985 u22P4	長さ 幅	4.3 1.3	重さ4.8g、孔径0.45cm	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/3	1/2正定形		028-06
176	土製品	土錘	SB10993 v21P11	長さ 幅	2.5 1.2	重さ1.55g、孔径0.55cm	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	円周 4/12		026-09
177	土師器	皿D	SB10993 v21P11	口径 残高	9.0 1.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.橙7.5YR7/4	口縁部 2/12		026-06
178	灰釉陶器	皿	SB10993 v21P3	底径 残高	9.8 2.1	外面：ロクロナデ・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：底元茶990 素地：灰(2.5Y7/1	底部 1/12		026-05
179	灰釉陶器	椀	SB10994 v22P10	残高	3.4	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：香色837 素地：灰(2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		026-07
180	灰釉陶器	小椀	SA10997 v24P17	残高	2.5	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：緑色系 素地：黄灰(2.5Y6/1	口縁部 1/12未満		031-02
181	土師器	杯D	SB10998 t21P20	口径 残高	12.5 2.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	口縁部 2/12		023-08
182	土師器	杯D	SB10998 v20P14底	残高	2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	灰黄褐10YR5/2	口縁部 1/12未満		023-09
183	土師器	皿D	SB10998 t21P9	口径 残高	10.0 1.2	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR6/4	口縁部 2/12		023-10
184	土製品	土錘?	SB10998 v20P2	長さ 幅	3.2 3.3	外面：条痕 内面：未調整	粗	—	に.ぶい.橙7.5YR5/4	細片		024-01
185	土師器	杯D	SK10969	口径 残高	15.9 2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	灰黄褐10YR5/2	口縁部 1/12		001-04
186	土師器	杯D	SK10969	口径 残高	13.8 2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	口縁部 2/12		001-07
187	土師器	皿D	SK10969	口径 器高	8.1 1.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 2/12		001-05
188	ロクロ 土師器	小皿	SK10969 No. 1	口径 器高 底径	8.1 2.0 4.4	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	1/2正定形		002-01
189	ロクロ 土師器	小皿	SK10969	底径 残高	4.2 1.1	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	橙7.5YR7/6	底部 完形		002-02
190	土師器	甕	SK10969 No. 2	口径 残高	19.8 11.3	外面：タテハケ・板ナデ・ヨコナデ・煤付着 内面：ヨコハケ・板ナデ・ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/2	口縁部 2/12		001-03
191	土師器	甕	SK10969 No. 4	口径 残高	19.0 6.4	外面：タテハケ（摩滅）・ヨコナデ 内面：ヨコハケ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/3	口縁部 2/12		001-02
192	瓦器	椀	SK10969	底径 残高	5.3 1.4	外面：ロクロナデ・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	5GN4/	底部 4/12		001-06
193	灰釉陶器	椀	SK10969 No. 5	底径 残高	7.6 2.8	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：褐茶814 素地：灰(2.5Y7/1	底部 完形		001-01
194	鉄製品	釘	SK10969	長さ 幅	6.8 0.7	厚さ0.7cm	—	—	—	胴部のみ		043-01
195	土師器	椀C	SK10971	残高	3.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	に.ぶい.黄橙10YR7/4	口縁部 1/12未満		005-02
196	土師器	杯B	SK10971 上面	口径 器高 底径	9.3 2.6 3.9	外面：ヨコナデ・高台貼付・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部1/12 底部4/12		005-01

第Ⅱ－７表　第188次調査　遺物観察表５

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
197	土師器	椀B	SK10971 土師	口径 器高 底径	9.1 2.5 4.5	外面：ヨコナデ・高台貼付・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	ほぼ完形		004-07
198	鉄製品	刀子？	SK10971	長さ 幅	3.9 1.0	厚3.0、25cm	—	—	—	刀身部 8/12		043-02
199	土師器	皿D	SK10972	口径 器高 底径	10.4 2.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR6/3	口縁部 7/12		010-05
200	ロクロ土師器	小皿	SK10972 No. 1	口径 器高 底径	9.1 1.8 4.6	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	ほぼ完形		010-06
201	灰釉陶器	椀	SK10972	残高	2.0	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		010-08
202	灰釉陶器	小瓶	SK10972	口径 残高	4.1 2.0	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：底元茶990 素地：灰白7.5Y7/1	口縁部 2/12		010-07
203	ロクロ土師器	小皿	SK10973	底径 残高	4.6 1.4	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	灰黄7.5YR5/2	底部 5/12		002-05
204	瓦器	椀	SK10973	口径 残高	17.2 3.9	外面：ヘラケズリ・ヨコナデ 内面：ヨコミガキ・ヨコナデ	密	良	灰N4/	口縁部 1/12		002-03
205	須恵器	壺？	SK10973	残高	3.3	外面：縄目タタキ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	明灰N3/7	胴部 破片		002-04
206	土師器	椀D	SK10976	残高	3.0	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 1/12未満		016-04
207	ロクロ土師器	小型椀	SK10976	底径 残高	3.0 1.7	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	灰黄橙10YR5/2	底部 4/12		016-05
208	灰釉陶器	瓶類	SK10976	底径 残高	9.4 3.8	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：海松茶817 素地：灰黄2.5Y7/2	底部 1/12		016-03
209	瓦器	椀	SK10976	残高	2.7	外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	密	良	灰N4/	口縁部 1/12未満		016-06
210	灰釉陶器	椀	SK10976	残高	2.3	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	灰白5Y8/1	口縁部 1/12未満		016-08
211	灰釉陶器	椀	SK10976	残高	3.0	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ・沈線2条	密	良	灰N8/	口縁部 1/12未満		016-10
212	土製品	土鍋	SK10976	長さ 幅	5.6 2.4	重さ23、4g、孔径1.1cm	密	良	明灰黄2.5Y5/2	両端 欠ける		016-07
213	白磁	皿	SK10979	口径 残高	9.5 1.8	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：薄緑色855 素地：灰白5Y7/1	口縁部 1/12		042-04
214	土師器	皿D	SK10986 No. 7	口径 器高	11.0 1.7	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	灰白2.5YR6/2	口縁部 6/12		018-03
215	土師器	皿D	SK10986	口径 器高	9.3 1.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 3/12		017-03
216	ロクロ土師器	杯	SK10986 No. 1	口径 器高 底径	15.6 3.5 7.0	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄2.5YR/3	口縁部 2/12		018-06
217	ロクロ土師器	小型杯	SK10986 No. 6	底径 残高	4.7 2.9	外面：ロクロナデ・糸切痕（摩滅） 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR6/4	底部 4/12		019-03
218	ロクロ土師器	台付杯	SK10986	口径 残高	14.2 2.3	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	灰白2.5YR/2	口縁部 1/12		019-02
219	土師器	甕	SK10986 No. 4	口径 残高	16.9 6.0	外面：タテハケ（摩滅）・ヨコナデ 内面：板ナデ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 2/12		017-02
220	土師器	甕	SK10986	口径 残高	19.8 5.1	外面：板ナデ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 1/12		018-02
221	土師器	甕	SK10986 No. 5	口径 残高	15.9 18.9	外面：ヘラケズリ・タテハケ・ヨコナデ・煤付着 内面：ヘラケズリ・板ナデ・ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部 5/12		017-01
222	土師器	甕	SK10986 No. 3	口径 残高	18.3 7.2	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	口縁部 2/12		018-01
223	灰釉陶器	椀	SK10986	口径 残高	14.7 3.3	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12		018-05
224	灰釉陶器	椀	SK10986	底径 残高	7.0 1.2	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	底部 1/12		018-07
225	灰釉陶器	椀	SK10986	残高	1.7	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：山吹色822 素地：灰黄2.5Y6/2	底部 1/12未満		019-01
226	灰釉陶器	椀	SK10987	残高	1.9	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：抹茶色838 素地：灰白10YR8/2	口縁部 1/12未満		019-10
227	ロクロ土師器	台付皿	q22P1 No. 2	口径 器高 底径	15.8 2.3 6.8	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・高台貼付・オサエ 内面：ヨコナデ・ロクロナデ 内面：ロクロケズリ・ロクロナデ	密	良	灰黄2.5Y7/2	口縁部10/12 底部3/12完形		025-01
228	陶器	山茶椀	q22P1 No. 1	口径 器高 底径	16.8 5.4 7.0	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：香蘇緑833 素地：灰黄2.5Y7/2	口縁部3/12 底部完形		031-05
229	土師器	椀D	u21P14	口径 器高	15.8 2.7	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/2	口縁部 4/12		032-08
230	土師器	皿D	u21P14	口径 器高	13.9 2.6	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	口縁部 1/12		032-09
231	土師器	椀C	u21P14	口径 残高	12.7 3.0	外面：ヘラケズリ・ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/2	口縁部 2/12		033-01
232	土師器	皿D	v22P11 No. 1	口径 器高	13.1 2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 4/12		033-09
233	土師器	甕	v22P11 No. 2	口径 残高	14.8 4.6	外面：タテハケ・ヨコナデ 内面：板ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR6/4	口縁部 3/12		034-01
234	土師器	皿D	u20P11	口径 残高	13.4 2.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部 1/12		032-05
235	土師器	杯	u22P21	口径 器高	14.9 3.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部 1/12		033-03
236	土師器	皿D	u23P1 No. 1	口径 器高	9.5 2.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅黄2.5YR/3	ほぼ完形		033-04
237	土師器	皿D	u24P2	口径 器高	11.1 2.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 3/12		033-07
238	土師器	皿D	v23P5	口径 残高	10.9 2.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 1/12		034-04

第Ⅱ－8表　第188次調査　遺物観察表6

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
239	土師器	皿D	w23P12	口径 8.8 器高 1.9	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	浅橙5YR6/4	口縁部 2/12		034-08
240	土師器	杯	w23P9	残高 2.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 1/12未満		035-01
241	土師器	皿D	x22P5	口径 10.7 残高 2.0	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 3/12		035-02
242	土師器	杯A	x22P9	残高 2.5	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	橙5YR7/6	口縁部 1/12未満		035-05
243	ロクロ土師器	椀	w22P6	底径 6.5 残高 1.4	外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	黄灰2.5Y4/1	底部 1/12		034-05
244	土師器	皿D	t20P1	口径 8.5 残高 0.9	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部 4/12		031-08
245	土師器	皿D	u21P17	口径 6.2 残高 1.0	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/2	口縁部 2/12		032-06
246	土師器	甕	u23P12	残高 3.0	外面：ヨコナデ 内面：ヨコナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 1/12未満		033-05
247	土師器	鍋	v22P1	残高 20.2 6.7	外面：タタハケ（摩滅）・ヨコナデ 内面：ヨコハケ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR6/4	口縁部 1/12		034-02
248	土師器	甕	x23P9	残高 3.9	外面：タタハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部 1/12未満		035-04
249	土師器	甕	x24P3	残高 13.6 4.3	外面：タタハケ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	灰白10YR8/2	口縁部 2/12		035-07
250	土師器	鉢	x24P3	残高 5.0	外面：タタハケ（摩滅）・ヨコナデ 内面：ヨコハケ（摩滅）・ヨコナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部 1/12未満		036-01
251	ロクロ土師器	杯	u20P1	口径 14.4 残高 2.0	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 1/12		031-03
252	ロクロ土師器	杯	s19P1	口径 14.5 残高 2.2	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	橙7.5YR7/6	口縁部 2/12		031-06
253	ロクロ土師器	杯	t21P4	底径 3.9 残高 1.2	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	橙7.5YR7/6	底部 8/12		032-04
254	ロクロ土師器	椀	u22P14	残高 1.2	外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	淡黄2.5Y8/3	底部 1/12未満		032-07
255	ロクロ土師器	椀	u24P9	底径 6.9 残高 2.0	外面：ロクロケズリ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/3	底部 6/12		033-08
256	黒色土器	椀	t22P2	残高 14.2 3.9	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ヘラミガキ	密	良	内面：黒10YR2/1 外面：灰白2.5Y8/2	口縁部 1/12	黒色土器？ 黒色化せず	032-02
257	土師器	椀	v22P9	口径 12.8 残高 3.5	外面：ヘラケズリ・ヨコナデ 内面：ヘラミガキ・ヨコナデ	密	良	橙7.5YR6/6	口縁部 1/12		034-03
258	黒色土器	椀	x22P9	残高 2.6	外面：ヘラケズリ・高台欠損 内面：ヘラミガキ・ヨコナデ	密	良	内面：暗灰N3/ 外面：にぶい橙7.5YR6/4	底部 1/12未満		035-06
259	灰釉陶器	椀	u20P2	口径 16.3 器高 6.0 底径 7.7	外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕・墨痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：利休白系818 素地：黄灰2.5Y6/2	口縁部1/12 底部完形		042-01
260	灰釉陶器	椀	t23P9	底径 8.0 残高 1.7	外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：威光系990 素地：黄灰2.5Y6/2	底部 1/12		032-03
261	灰釉陶器	椀	w22P6	底径 6.8 残高 1.9	外面：ロクロケズリ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瑠989 素地：灰白2.5Y7/1	底部 3/12		034-06
262	灰釉陶器	椀	p21P8	底径 6.8 残高 1.4	外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：灰白940 素地：黄灰2.5Y6/2	底部完形		031-04
263	灰釉陶器	椀	u22P19	底径 5.6 残高 2.0	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瑠989 素地：灰白2.5Y7/1	底部 2/12		033-02
264	灰釉陶器	椀	w23P9	底径 5.5 残高 4.0	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：威光系990 素地：灰白2.5Y7/1	底部 11/12		034-07
265	灰釉陶器	段皿	u23P15	口径 13.2 残高 1.1	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：灰白950 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12		033-06
266	灰釉陶器	皿	x24P4	底径 6.5 残高 1.3	外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：休茶色636 素地：灰黄2.5Y7/2	底部 2/12		036-02
267	緑釉陶器	小椀	x23P4	残高 0.9	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：オリーブ色616 素地：灰黄褐10YR5/2	口縁部 1/12未満	東濃系？	042-03
268	白磁	椀	t20P11	残高 2.5	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瑠989 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		042-02
269	土製品	土鍋	t20P15	長さ 3.0 幅 2.8	重さ5.68g、孔径1.3cm以上	密	良	にぶい橙7.5YR6/3	円周 3/12		031-07
270	土製品	土鍋	x22P6	長さ 4.4 幅 2.2	重さ9.94g、孔径0.65cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	円周 5/12		035-03
271	土製品	土鍋	x24P7	長さ 2.4 幅 1.1	重さ2.07g、孔径0.3cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	全体 6/12		036-03
272	鉄製品	不明品	t21P11	長さ 1.3 幅 1.2	厚さ0.3cm	—	—	—	不明		043-03
273	土師器	鍋C	u22 包含層	口径 12.5 器高 3.5	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 3/12		036-06
274	土師器	杯D	v21 包含層	口径 14.4 器高 3.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 3/12		039-04
275	土師器	皿D	v21 包含層	口径 8.7 器高 1.8	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 9/12		038-05
276	土師器	皿D	u22 包含層	口径 8.4 器高 1.9	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	橙7.5YR7/6	口縁部 8/12		037-01
277	土師器	皿D	u23 包含層	口径 9.0 器高 2.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	橙7.5YR7/6	口縁部 1/12	正位完形	047-09
278	土師器	高杯	u20 包含層	残高 6.5	外面：ヘラケズリによる10面取り・ナデ 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	脚部の一部		045-02
279	土師器	高杯	q20 包含層	残高 4.4	外面：ヘラケズリによる9面取り 内面：工具痕	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	脚部の一部		045-04
280	土製品	不明品 脚部	u21 包含層	長さ 4.7 幅 2.0	ヘラケズリによる10面取り（摩滅）	密	良	浅黄橙10YR8/3	脚部の一部	土馬か？	044-02
281	土師器	鍋	u21 包含層	口径 24.1 残高 6.5	外面：オサエ・ナデ・ヨコナデ 内面：ヨコハケ・ヨコナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	口縁部 2/12		036-05

第Ⅱ－９表　第188次調査　遺物観察表７

番号	器種	器形	地区 層種	法量（cm）	調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
282	土師器	鍋	u21 包含層	口径 残高	25.4 外面：ヘラケズリ・オサエ・ヨコナデ・煤付着 13.9 内面：ヘラケズリ・板ナデ，ヨコナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	口縁部 3/12		040-03
283	土師器	鉢	q19 包含層	残高	6.6 外面：タテハラ・ヨコナデ 内面：板ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	口縁部 1/12未満		038-02
284	土師器	甕	w22 包含層	口径 残高	19.2 外面：タテハラ・ヨコナデ 5.6 内面：板ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	口縁部 1/12		039-05
285	土師器	鍋	u21 包含層	口径 残高	18.1 外面：ナデ・オサエ，・ヨコナデ・煤付着 6.8 内面：板ナデ・ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR6/3	口縁部 2/12		038-07
286	ロクロ 土師器	台付甕	q22 包含層	口径 器高 底径	16.0 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 4.4 内面：ロクロナデ 7.2	密	良	灰白10YR8/2	口縁部4/12 底部8/12		040-02
287	ロクロ 土師器	椀	u22 包含層	底径 残高	6.2 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 3.0 内面：ロクロナデ	密	良	浅黄橙10YR8/4	底部 1/12		037-02
288	ロクロ 土師器	台付甕	u23 包含層	底径 残高	7.4 外面：ロクロナデ 5.6 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	底部 1/12		039-02
289	ロクロ 土師器	台付甕	q22 包含層	底径 残高	6.9 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 3.2 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	底部 8/12		037-03
290	ロクロ 土師器	台付甕	t20 包含層	底径 残高	7.5 外面：ロクロナデ 3.7 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい橙7.5YR7/4	底部 13/12完形		036-04
291	ロクロ 土師器	台付甕	q24 包含層	底径 残高	10.1 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕・ナデ 3.4 内面：ロクロナデ	密	良	橙7.5YR7/6	底部 1/12		037-06
292	ロクロ 土師器	小型杯	q24 包含層	口径 器高 底径	8.0 外面：ロクロナデ・糸切痕 2.5 内面：ロクロナデ 3.8	密	良	にぶい黄橙10YR7/2	口縁部1/12 底部完形		037-05
293	須恵器	壺G ｽﾀﾝﾄﾞ形	u23 包含層	口径 器高 底径	6.9 外面：ロクロケズリ・ロクロナデ・糸切痕 7.4 内面：ロクロナデ 4.5	密	良	灰白2.5Y7/1	口縁部 4/12		038-01
294	須恵器	甕	q23 包含層	底径 残高	14.2 外面：ナデ・オサエ・ヘラケズリ・タタキ 4.3 内面：タタキ・ナデ	密	良	灰白5Y5/1	底部 3/12		039-01
295	陶器	山茶椀	r19 包含層	口径 器高 底径	16.1 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕・輪花文 6.2 内面：ロクロナデ 5.8	密	良	釉：ねこやなぎ色N25 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部2/12 底部完形		038-03
296	陶器	山茶椀	q23 包含層	口径 器高 底径	15.0 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 5.2 内面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 6.8	密	良	釉：ねこやなぎ色N25 素地：灰黄2.5Y7/2	口縁部2/12 底部10/12		037-04
297	陶器	山茶椀	v22 包含層	口径 残高	16.2 外面：ロクロナデ 4.0 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 2/12		039-03
298	灰釉陶器	椀	t20 包含層	底径 残高	6.0 外面：ロクロナデ・ヘラオコシ・ナデ・高台貼付 3.6 内面：ロクロナデ	密	良	釉：灰色N46 素地：灰白7.5Y7/1	底部完形		047-08
299	陶器	山茶椀	v22 包含層	底径 残高	6.9 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕 3.1 内面：ロクロナデ	密	良	釉：威光茶990 素地：灰白2.5Y7/1	底部 5/12		037-07
300	灰釉陶器	椀	v22 包含層	底径 残高	6.2 外面：ロクロナデ・高台貼付 1.6 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白2.5Y7/1	底部 10/12		037-08
301	陶器	山茶椀	w22 包含層	底径 残高	7.0 外面：ロクロナデ・高台貼付 2.3 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白2.5Y7/1	底部 13/12完形		036-06
302	陶器	山皿	u21 包含層	口径 器高 底径	9.1 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕・モミガラ圧痕 2.7 内面：ロクロナデ・釉痕 4.5	密	良	黄灰2.5Y6/1	口縁部7/12 底部完形		045-05
303	陶器	山皿	s22 包含層	口径 器高 底径	9.1 外面：ロクロナデ・高台貼付・ナデ 2.8 内面：ロクロナデ 3.9	密	良	灰白2.5Y7/1	口縁部5/12 底部完形		045-06
304	陶器	山皿	t20 包含層	口径 器高 底径	9.2 外面：ロクロナデ・高台貼付・糸切痕・モミガラ圧痕 2.8 内面：ロクロナデ・赤色顔料付着 4.4	密	良	灰黄2.5Y7/2 赤色顔料：にぶい赤橙 2.5YR4/4	口縁部5/12 底部8/12		038-04
305	瓦器	皿	u21 包含層	残高	1.4 外面：ヘラミガキ 内面：ヘラミガキ	密	良	灰5/	口縁部 1/12未満		045-07
306	緑釉陶器	椀	v22 包含層	残高	2.1 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：山吹色K22 素地：明灰黄2.5Y5/2	口縁部 1/12未満		042-09
307	黒色土器	椀	u23 包含層	底径 残高	6.6 外面：ナデ・オサエ 2.8 内面：ナデ・オサエ・高台貼付・ヨコナデ	密	良	内面：黒褐2.5Y3/1 外面：浅黄2.5Y6/3	底部 13/12完形		049-01
308	白磁	輪花椀	u22 包含層	残高	1.9 外面：輪花文 内面：輪花文	密	良	釉：水郡993 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		041-05
309	白磁	椀	u25 包含層	残高	14.7 外面：ロクロナデ 4.0 内面：ロクロナデ	密	良	釉：砂色800 素地：灰白5Y7/1	口縁部 1/12		047-06
310	白磁	椀	u21 包含層	残高	3.4 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：利休白茶812 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		047-02
311	白磁	椀	q19 包含層	残高	3.2 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：砂色800 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		041-02
312	白磁	椀	w22 包含層	残高	2.1 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：ねこやなぎ色K25 素地：灰白5Y7/1	口縁部 1/12未満		047-05
313	白磁	椀	u21 包含層	残高	1.5 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：黄灰2.5Y6/1	口縁部 1/12未満		047-03
314	白磁	椀	u21 包含層	残高	1.8 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白5/	口縁部 1/12未満		044-04
315	白磁	椀	t19 包含層	残高	1.9 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		047-01
316	白磁	椀	s20 包含層	残高	1.8 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：ねこやなぎ色K25 素地：灰白2.5Y8/2	口縁部 1/12未満		042-10
317	白磁	皿	v23 包含層	残高	2.2 外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：利休白茶812 素地：灰白5Y7/1	口縁部 1/12未満		047-04
318	青磁	椀	u21 包含層	残高	2.3 外面：ロクロケズリ・高台貼付・工具痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白2.5Y7/1	底部 1/12未満		041-04
319	青磁	椀	s23 包含層	底径 残高	6.7 外面：ロクロナデ・高台貼付 1.8 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白燈989 素地：灰白2.5Y8/2	底部 2/12		044-03
320	青磁	椀	v22 包含層	底径 残高	4.1 外面：ロクロナデ・高台貼付 1.7 内面：ロクロナデ	密	良	釉：灰緑857	底部 1/12		044-05
321	青磁	椀	u22 包含層	底径 残高	5.7 外面：ロクロナデ・ロクロケズリ 3.6 内面：ロクロナデ	密	良	釉：象牙色789 素地：灰白2.5Y8/2	底部 完形		040-04

第Ⅱ－10表　第188次調査　遺物観察表８

番号	器種	器形	地区 遺構	法量（cm）		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
322	器番上器 上師器	甕	u21 包含層	残高	1.3	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・鋸手状文器番か？ 内面：ヨコナデ	密	良	浅黄2.5Y7/3	口縁部 1/12未満		049-02
323	器番上器 上師器	甕	u21 包含層	口径 器高	7.7 1.1	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・不明器番 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい褐7.5YR7/4	口縁部 1/12		044-06
324	器番上器 灰釉陶器	甕	u22 包含層	残高	2.2	外面：ロクロナデ・不明器番 内面：ロクロナデ	密	良	灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		044-08
325	器番上器 上師器	甕	u21 包含層	残高	1.0	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ・不明器番 内面：ヨコナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 1/12未満		044-07
326	製塩土器	赤彩式 製塩 土器	u21 包含層	残高	3.9	外面：オサエ・ナデ 内面：オサエ・ナデ	密	良	橙5YR6/6	口縁部 1/12未満		045-08
327	土製品	土師	u21 包含層	長さ 幅	4.4 1.5	重さ5.9g、孔径0.5cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	1/12完形		048-04
328	土製品	土師	u22 包含層	長さ 幅	5.1 1.5	重さ9.3g、孔径0.4cm	密	やや良	浅黄2.5Y7/3	1/12完形		048-03
329	土製品	土師	u23 包含層	長さ 幅	3.7 1.6	重さ6.0g、孔径0.5cm	密	良	黄灰2.5Y4/1	1/12完形		048-02
330	土製品	土師	u23 包含層	長さ 幅	3.4 1.3	重さ4.2g、孔径0.35cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	全体 8/12		048-05
331	土製品	土師	v23 包含層	長さ 幅	2.7 1.0	重さ2.3g、孔径0.35cm	密	良	橙7.5YR6/6	全体 5/12		048-07
332	土製品	土師	o22 包含層	長さ 幅	6.7 2.3	重さ25.6g、孔径0.8cm	密	良	にぶい黄橙10YR7/3	1/12完形		048-01
333	土製品	土師	v23 包含層	長さ 幅	4.2 1.8	重さ9.6g、孔径0.6cm	密	良	浅黄2.5Y7/3	全体 9/12		048-06
334	土製品	土師	w23 包含層	長さ 幅	3.7 1.6	重さ6.3g、孔径0.4cm	密	良	暗灰黄2.5Y5/2	1/12完形		048-08
335	土製品	土師	x・w22 包含層	長さ 幅	5.0 1.3	重さ6.11g、孔径0.4cm	密	良	明赤褐2.5YR5/6	全体 10/12		046-01
336	土製品	土師	u24 包含層	長さ 幅	4.0 1.5	重さ6.0g、孔径0.4cm	密	良	褐10YR4/1	1/12完形		048-10
337	土製品	土師	u24 包含層	長さ 幅	2.7 1.3	重さ2.5g、孔径0.5cm	密	良	浅黄橙10YR8/3	円周 6/12		048-11
338	土製品	土師	u24 包含層	長さ 幅	4.5 1.7	重さ7.9g、孔径0.35cm	密	良	黄橙10YR6/2	1/12完形		048-09
339	石製品	砥石	u21 包含層	長さ 幅	9.1 2.1	重さ70g、厚さ2.8cm、砂岩	—	—	灰黄2.5Y6/2	不明		049-04
340	石製品	砥石	v24 包含層	長さ 幅	7.4 4.7	重さ110g、厚さ1.8cm、泥岩	—	—	にぶい黄2.5Y6/3	不明		049-03
341	白磁	加工 円盤	u22 包含層	長さ 幅	2.1 2.0	厚さ0.35cm	密	良	釉：利休白JS812 素地：白9/	不明		046-07
342	鉄製品	釘	u21 包含層	長さ 幅	7.6 0.6	厚さ0.8cm	—	—	—	不明	巻頭7	044-01
343	土製品	土玉	u23 包含層	径	5.3	重さ117g	密	良	灰白2.5Y8/2～ 暗灰黄2.5Y5/2	1/12完形		041-06
344	土師器	皿D	u20 表土	口径 器高	10.7 2.4	外面：ヨコナデ・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部 3/12		040-05
345	土師器	高杯	v21 表土	残高	5.5	外面：ヘラケズリによる面取り 内面：工具痕・オサエ・ナデ	密	良	橙5YR7/6	脚部の一部		045-01
346	土師器	台付椀	o19 表土	口径 器高 底径	15.3 6.0 6.8	外面：ヨコナデ・高台貼付・オサエ・ナデ 内面：ヨコナデ・ナデ	密	良	暗灰黄2.5Y5/2	口縁部3/12 底部2/12		046-03
347	ロクロ土師器	小型杯	u22 表土	口径 器高 底径	9.6 3.5 4.2	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	にぶい黄橙10YR7/4	口縁部5/12 底部完形		040-06
348	灰釉陶器	椀	v21 表土	口径 器高 底径	16.6 5.4 7.4	外面：ロクロナデ・糸切痕・高台貼付 内面：ロクロナデ	密	良	釉：砂色800 素地：灰白7.5Y7/1	口縁部 3/12		047-07
349	陶器	山皿	v19 表土	残高 底径	6.7 2.6	外面：ロクロナデ・糸切痕 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瓶989 素地：黄灰2.5Y7/2	底部完形		040-01
350	白磁	椀	v20 表土	残高	4.4	外面：ロクロナデ・ヘラミガキ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：利休白JS812 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		046-05
351	白磁	椀	v20 表土	残高	1.8	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瓶989 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		046-06
352	白磁	椀	p21 表土	残高	2.0	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：青白瓶989 素地：灰白2.5Y7/1	口縁部 1/12未満		046-04
353	白磁	椀	v23 表土	残高	1.7	外面：ロクロナデ 内面：ロクロナデ	密	良	釉：利休白JS812 素地：灰白7.5Y7/1	口縁部 1/12未満		042-08
354	青白磁	紅皿	x24 表土	口径 残高	3.8 1.3	外面：型打ち 内面：型打ち	密	良	釉：水瓶993 素地：灰白5YR7/1	口縁部 1/12		046-02
355	陶器	瓶類	o20 表土	底径 残高	12.4 11.9	外面：ロクロケズリ・ロクロナデ 内面：ロクロナデ・オサエ・ナデ	密	良	黄灰2.5Y6/12	底部 6/12		039-06

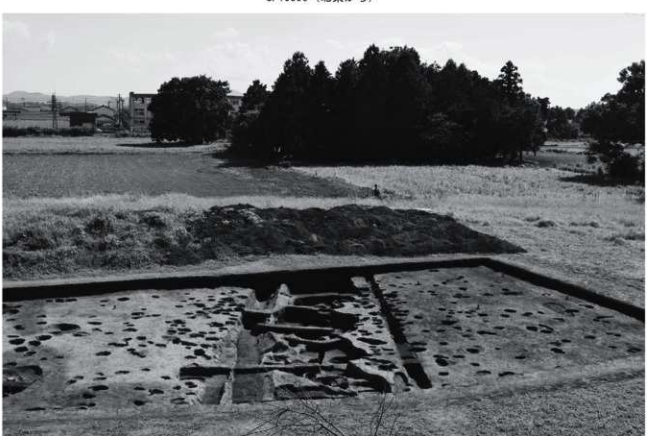
第Ⅱ－11表　第188次調査　遺物観察表9

第188次調査区全景（東から）

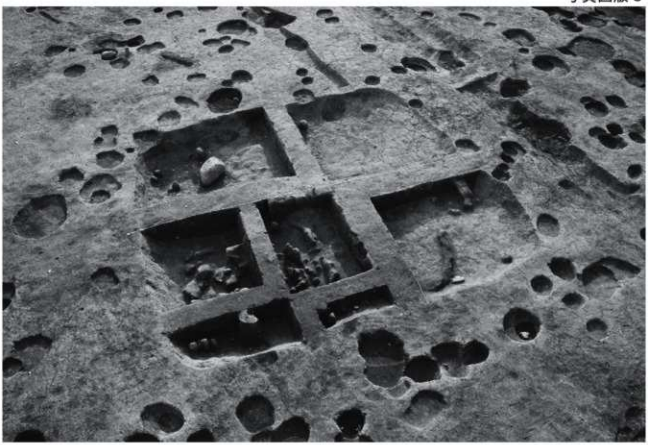
調査区中央部全景（東から）

写真図版２

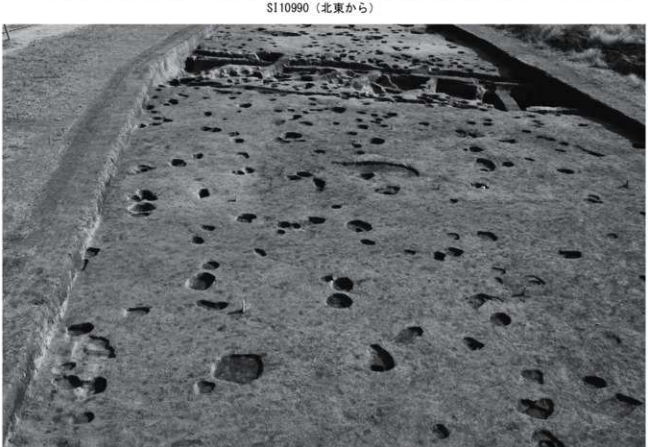
SF10999（北東から）



SF11000・11001（北から）



SI10990（北東から）



SA10946・SB10950（西から）

写真図版４

第188次調査現場と案内看板設置

案内テント

発掘現場の見学風景

発掘体験

休日公開

墨書土器体験

大学生による斎宮跡調査アシスタント

三大都市圏講演会（國學院大學博物館）

報 告 書 抄 録

ふ り が な	しせきさいくうあと　だいひゃくはちじゅうはちじはっくつちょうさほうこく
書　　名	史跡斎宮跡　第188次発掘調査報告
副 書 名	
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	
シリーズ番号	
編 著 者 名	宮原佑治・小原雄也
編 集 機 関	斎宮歴史博物館
所　在　地	〒515-0325　三重県多気郡明和町竹川503　TEL0596-52-3800
発 行 年 月 日	西暦　2024年3月15日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
さいくうあと 斎宮跡	たきぐん　めいわちょう 多気郡明和町 さいくう　たけがわ 斎宮・竹川	24442	210	34° 31′ 55″ ～ 34° 32′ 30″	136° 36′ 16″ ～ 136° 37′ 37″	20160523 ～ 20161216	700㎡	学術調査

所収遺跡名	種　別	主 な 時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特記事項
斎 宮 跡 第188次	官　衙	平安・鎌倉・ 室町	道路・ 掘立柱建物・ 柱列・ 竪穴建物・ 溝・土坑	土師器・須恵器・ 灰釉陶器・陶器・ 青磁・白磁・土製品・ 石製品・鉄製品	古代伊勢道から派生する南北道路、竪穴建物状の工房などを確認。

要　約	方格街区の西側外部に位置する広頭地区での発掘調査で、古代伊勢道から南に派生する道路や平安時代中期～末期の掘立柱建物、平安時代末期～鎌倉時代の竪穴建物状の工房を確認した。派生道路の成立時期は、重複関係や出土遺物から平安時代前期以前に遡り、平安時代中期には古代伊勢道・南側派生道路の交差点付近を中心に多数の落ち込み・土坑が掘り込まれることで一時的に廃絶する。しかし平安時代後期になると、再び道路側溝が掘削され、再び道路としての機能を取り戻したと考えられる。 広頭地区では、平安時代後期以降の四脚門（第15次調査）や類似する方位で規則的に配置された建物群（第59次調査）が確認されており、今回の調査で確認した道路や建物群は、平安時代後期以降における斎宮の公的施設の一部であった可能性がある。

史跡 斎宮跡

第 188 次発掘調査報告

2024 年 3 月 15 日
編集・発行　斎宮歴史博物館
印　　刷　有限会社ミフジ印刷